

第1回
安中市都市計画都市計画マスタープラン
策定委員会

【参考資料】
安中市の現状と市民意向調査結果(速報版)

令和5年7月26日(火)

14:00～16:00

1. 安中市の現状について

1.1 人口世帯等

1.2 産業

1.3 土地利用

1.4 交通

1.5 水・みどり・環境

1.6 安全・安心（防災）

1.7 生活環境

1.8 景観

2. 市民意向調査結果【速報版】

2.1 調査概要

2.2 回答者の属性

2.3 現在の安中市について

2.4 将来の安中市について

1. 安中市の現状について

1.1 人口世帯等

1.2 産業

1.3 土地利用

1.4 交通

1.5 水・みどり・環境

1.6 安全・安心（防災）

1.7 生活環境

1.8 景観

2. 市民意向調査結果【速報版】

2.1 調査概要

2.2 回答者の属性

2.3 現在の安中市について

2.4 将来の安中市について

1-1 人口世帯等

- ⇒人口・世帯の推移
- ⇒社会動態・自然動態
- ⇒年齢3区分別人口と将来人口

1-2 産業

- ⇒産業大部類別従業者数の推移
- ⇒民間事業所数・従業者数の推移
- ⇒小売業の従業者数・年間販売額
- ⇒製造業の従業者数・年間出荷額

1-3 土地利用

- ⇒土地利用現況図
- ⇒土地利用の割合

1-4 交通

- ⇒道路ネットワーク
- ⇒市内鉄道駅の1日平均乗車人員
- ⇒バス・タクシーの利用者数
- ⇒通勤・通学時の利用交通手段
- ⇒通勤・通学流動

1-5 水・みどり・環境

- ⇒水、みどり、森林景観等の配置

1-6 安全・安心（防災）

- ⇒ハザードマップ
(洪水・土砂、活断層、火山)

1-7 生活環境

- ⇒公共施設について
- ⇒上水道の給水人口と普及率
- ⇒供給処理施設の分布

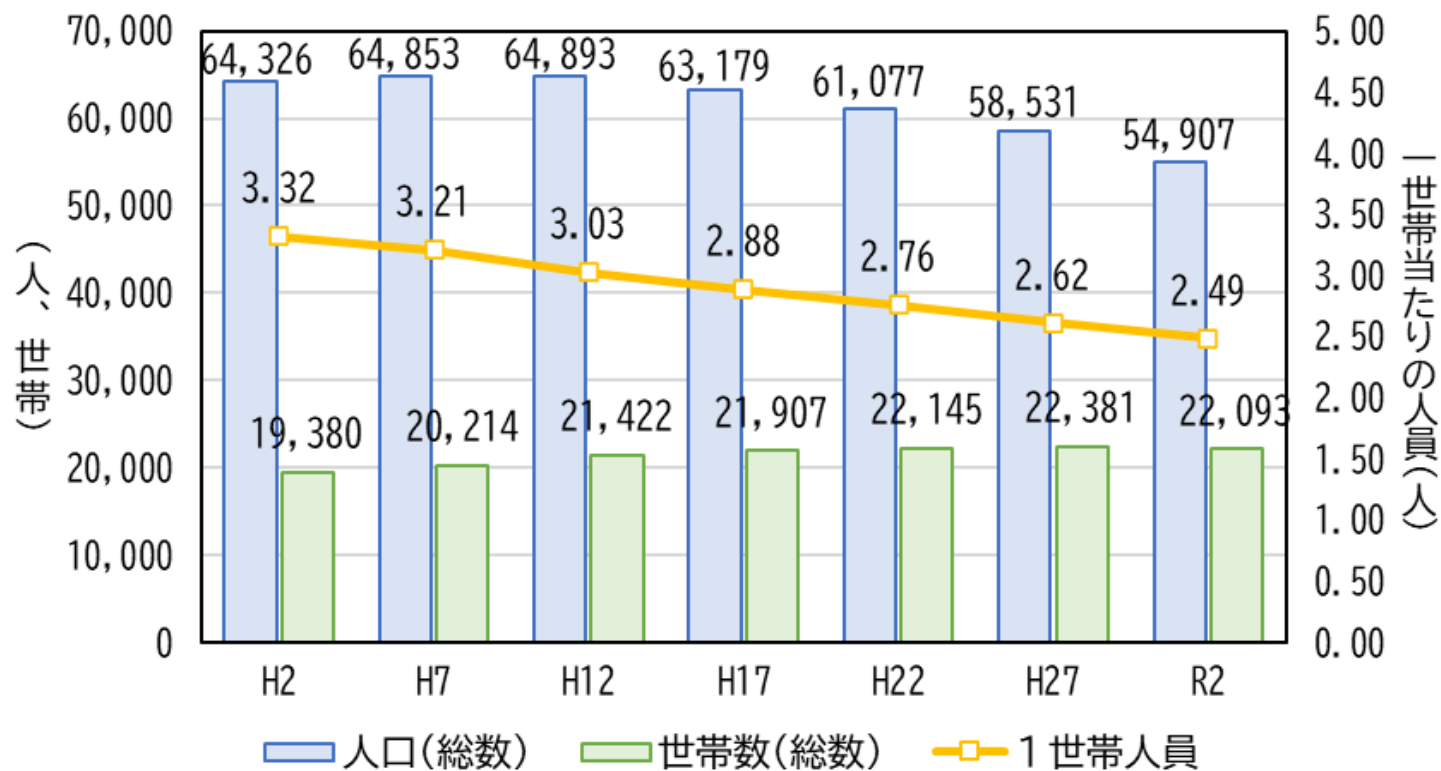
1-8 景観

- ⇒景観形成方針図

1.1 人口世帯等

- 人口は、H12(2000)年をピークに**減少傾向**
- 世帯数は、H27(2015)年まで**増加傾向**にあるが、R2(2020)年で**減少に転換**
- 一世帯当たりの人員は、H2(1990)年以降**減少傾向**

【人口・世帯の推移】

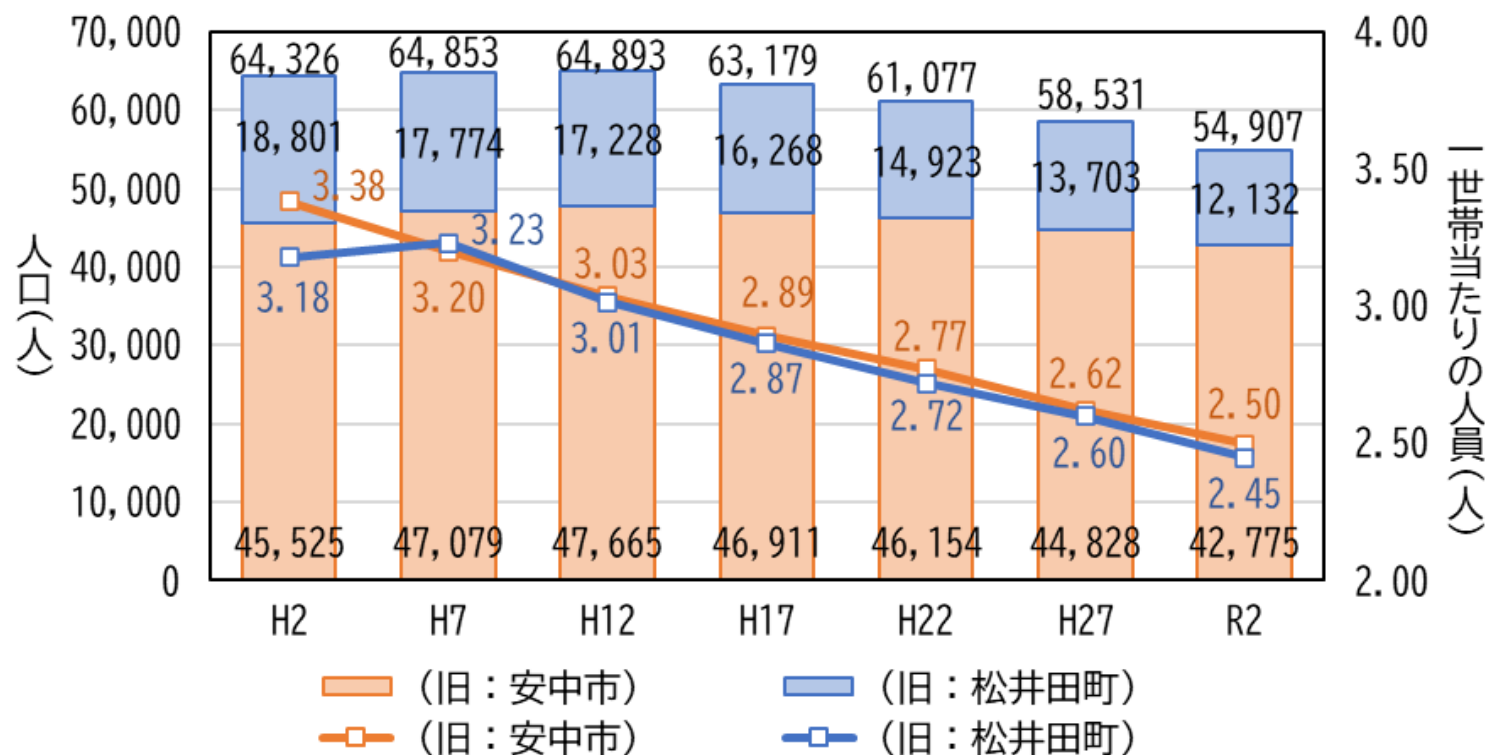


1. 安中市の現状について

1.1 人口世帯等

- 旧安中市の人口は、H12(2000)年をピークに**減少傾向**
- 旧松井田町は、H2(1990)年以降**減少傾向**
- 一世帯当たりの人員は、H7(1995)年に旧松井田町で**増加**しているが、その後は旧安中市、旧松井田町ともに**減少傾向**

【旧安中市・旧松井田町別の人口・世帯の推移】

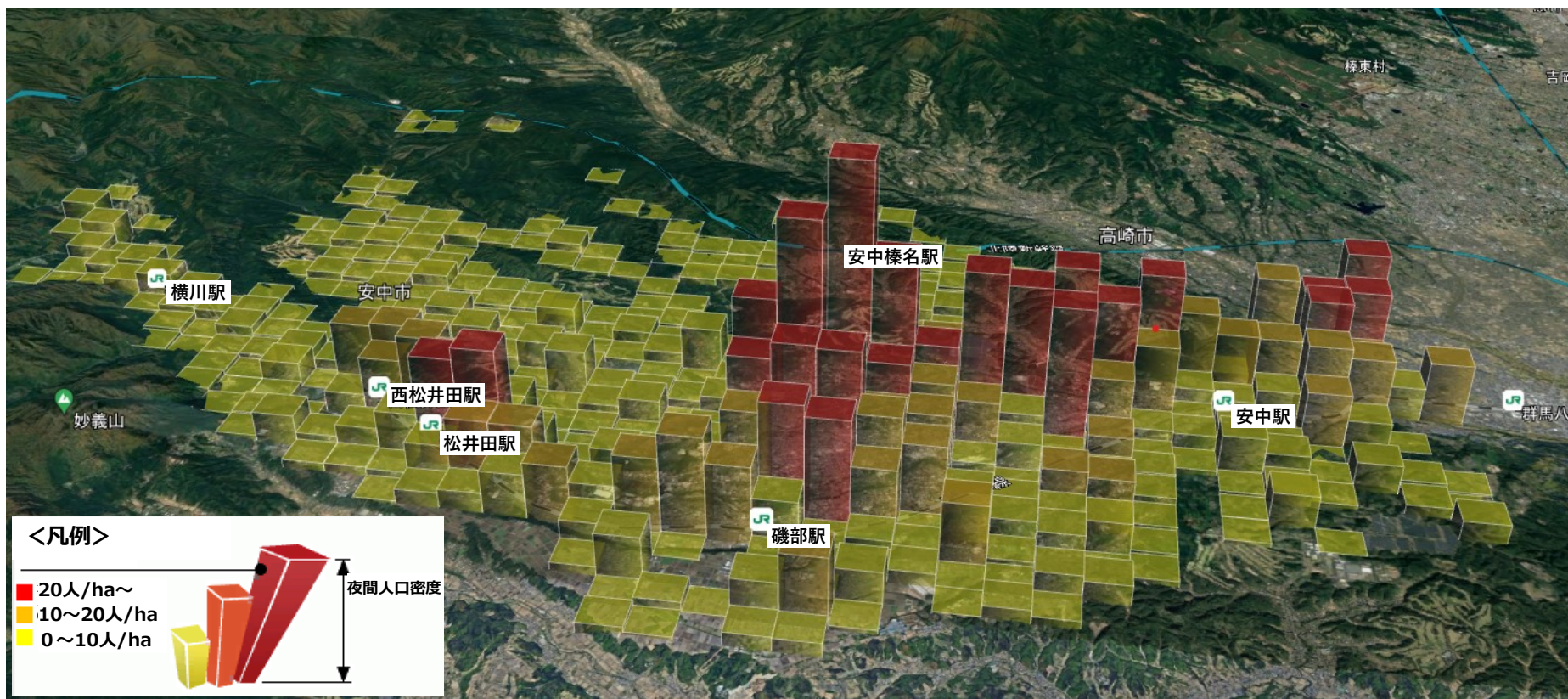


1. 安中市の現状について

1.1 人口世帯等

- JR信越本線沿線、特に磯部駅北部に人口が集中している
- 市の西部は、人口密度10人/ha未満の地域が多い
- 旧松井田町の中では、松井田駅、西松井田駅周辺に集中している

【夜間人口密度】

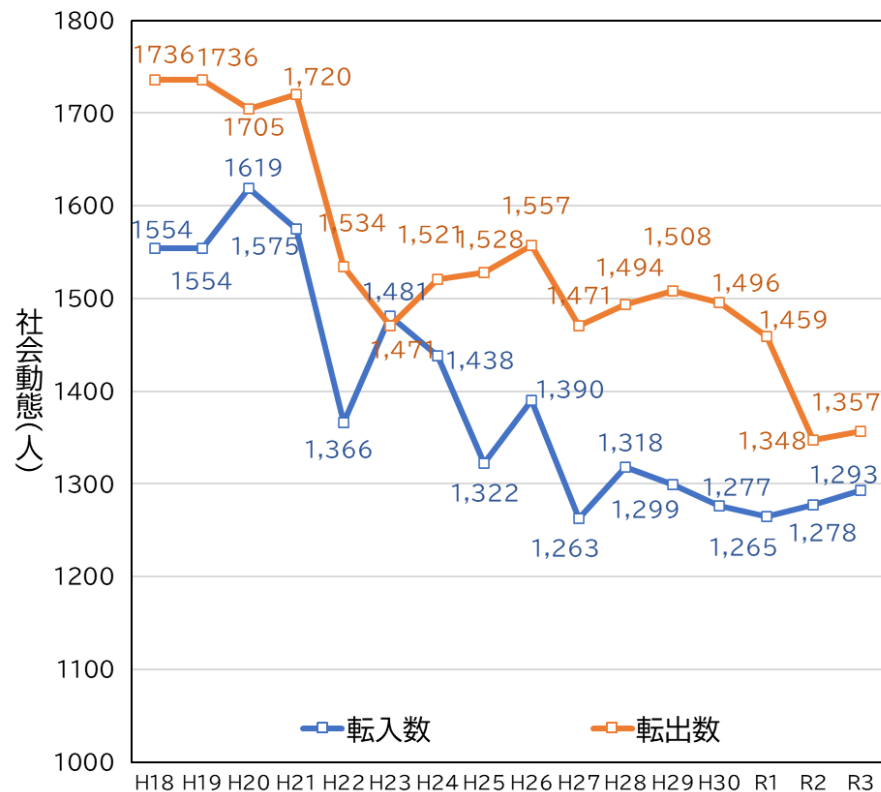


1. 安中市の現状について

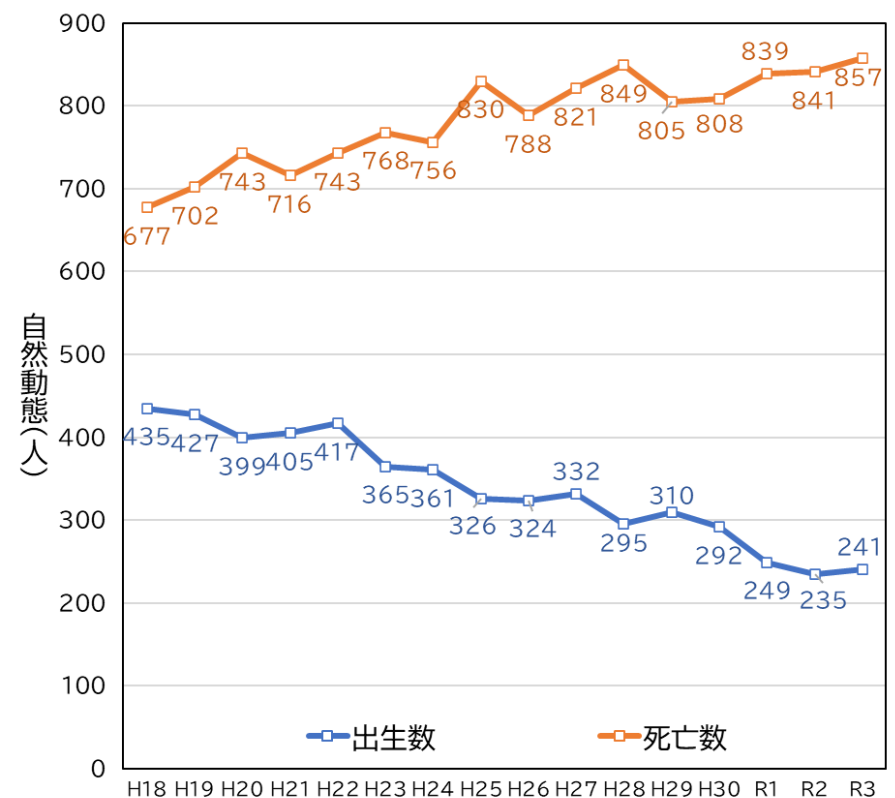
1.1 人口世帯等

- 社会動態は、H23（2011）年を除き転出超過で推移
- また、H18(2006)年以降、転入数と転出数ともに**減少傾向**にあるが、R2(2020)年以降は**増加**
- 自然動態は、出生数は**減少傾向**にある一方、死亡数は**増加傾向**

【社会動態】



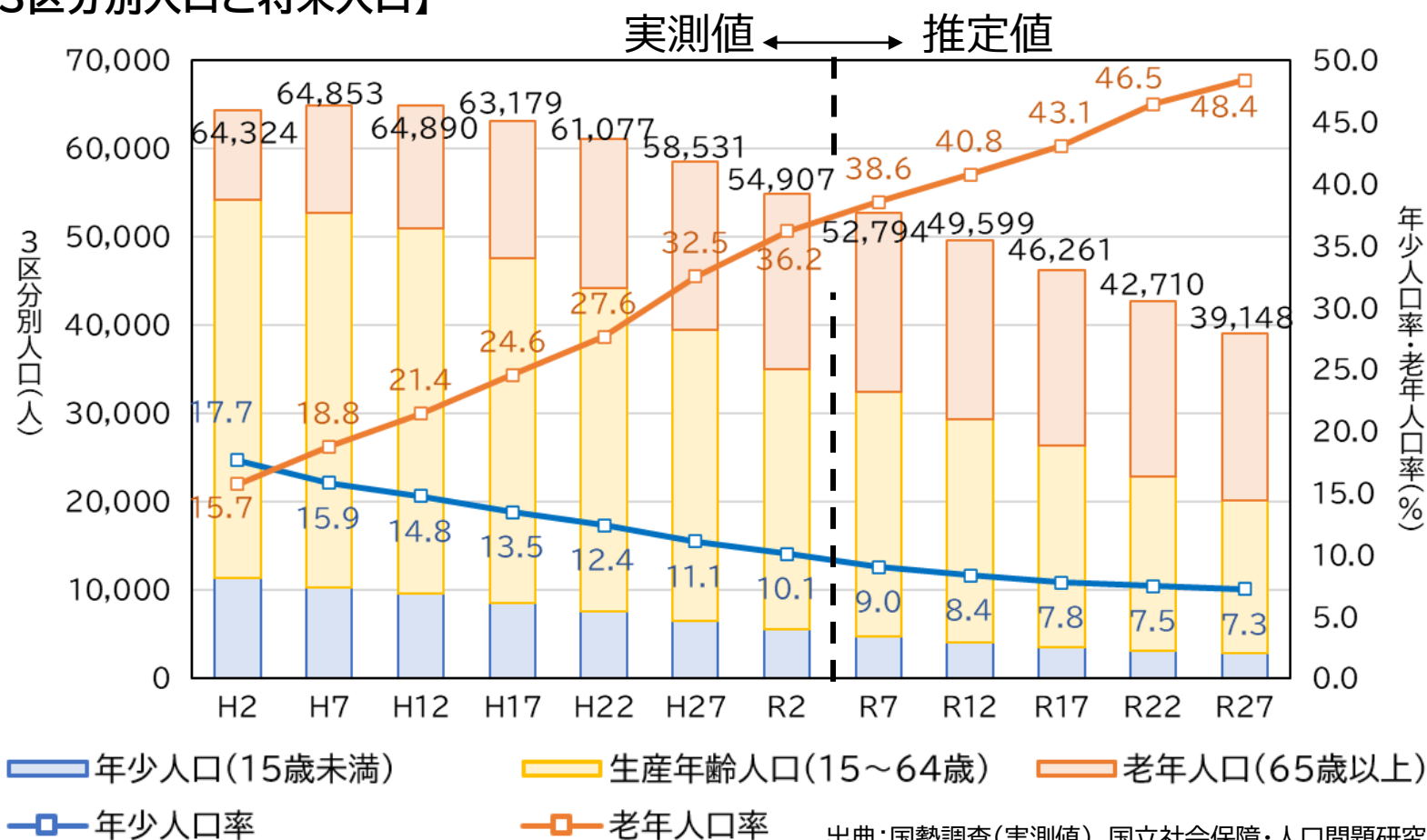
【自然動態】



1.1 人口世帯等

- 人口は、H12（2000）年より減少傾向で、R27（2045）年には4万人を下回る見込み
- 年少人口率は、H2(1990)年以降**減少傾向**にあり、R27（2045）年には**7.3%まで減少**
- 老年人口率は、H2(1990)年以降**増加傾向**にあり、R27（2045）年には**48.4%まで増加**

【年齢3区分別人口と将来人口】

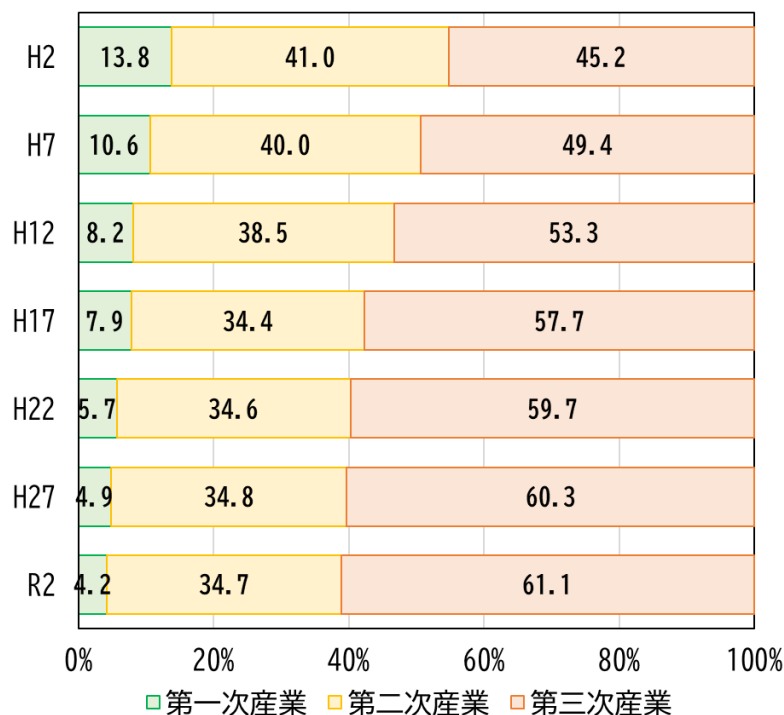


1. 安中市の現状について

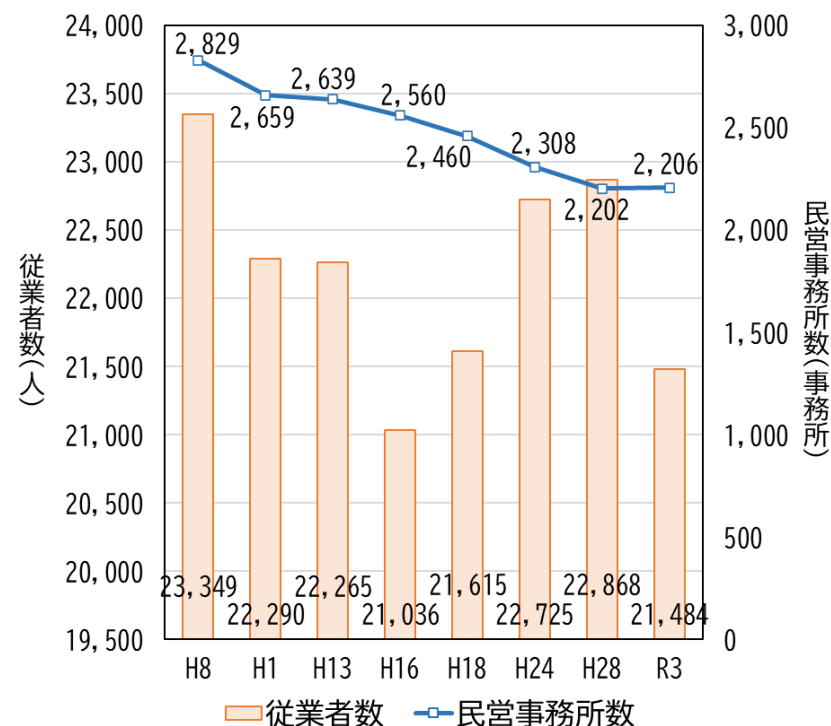
1.2 産業

- 産業大分類別の従業者の割合は、第一次産業（農業、林業、工業等）、第二次産業（製造業、建設業等）はともに**減少傾向**にある一方、第三次産業（サービス業等）は**増加傾向**
- 従業者数は、H8（1996）～H16（2004）年では**減少傾向**、H18（2006）～H28（2016）年では**増加傾向**にあるが、R3（2021）年で**激減**
- 民間事務所数は、H8（1996）年以降、**減少傾向**にあるが、R3(2021)年は**微増**

【産業大分類別の従業者割合の推移】



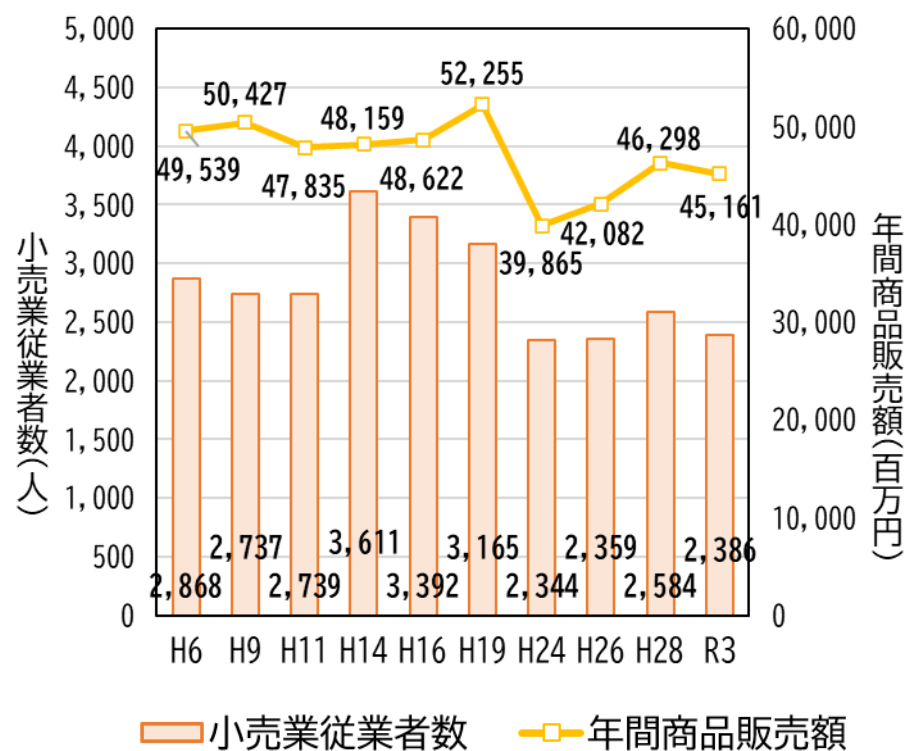
【民間事務所数・従業者数の推移】



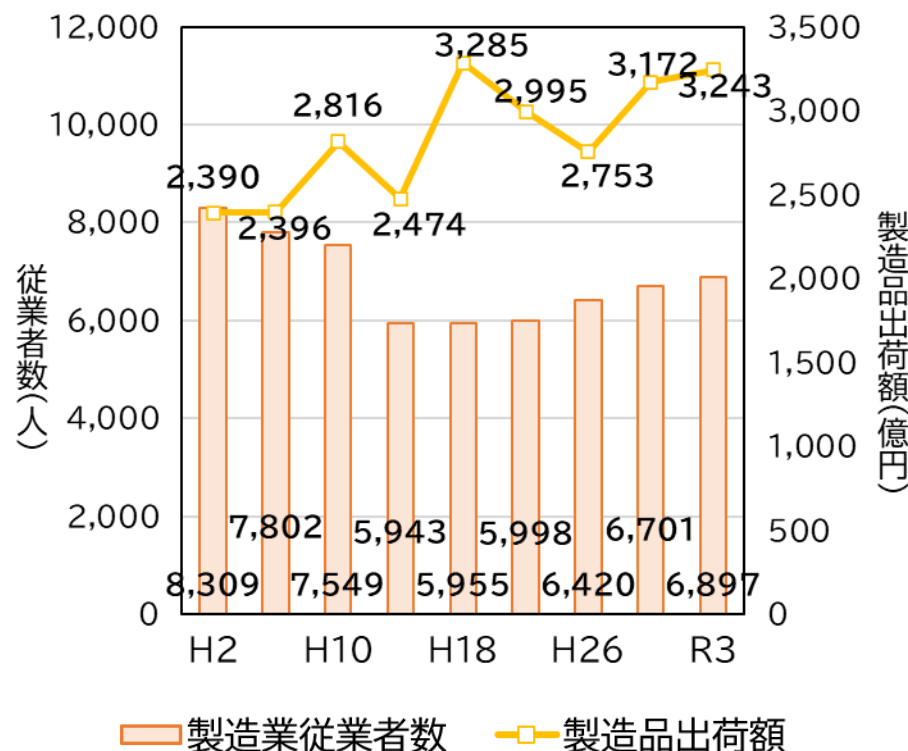
1.2 産業

- 小売業の従業者数は、H14（2002）年をピークに減少し、2500人前後で推移
- 製造業の従業者数は、H2（1990）年以降減少していたが、H14(2002)年以降は増加傾向にあり、製造品出荷額も増加と減少を繰り返しつつ全体的には増加傾向

【小売業の従業者数・年間販売額】



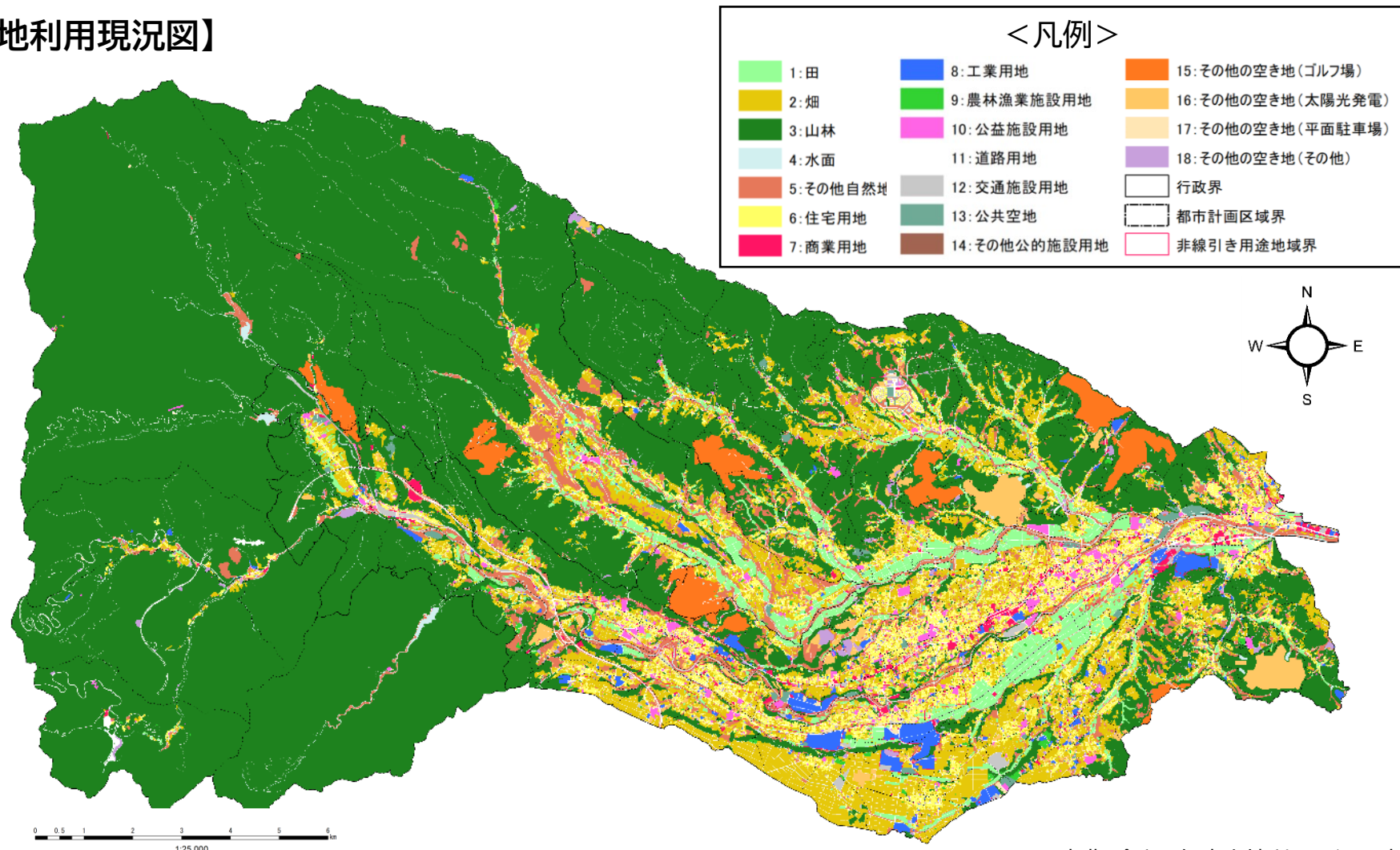
【製造業の従業者数・年間出荷額】



1.3 土地利用

- 市の東部に都市機能が集積しており、西部は山林が広がっている

【土地利用現況図】

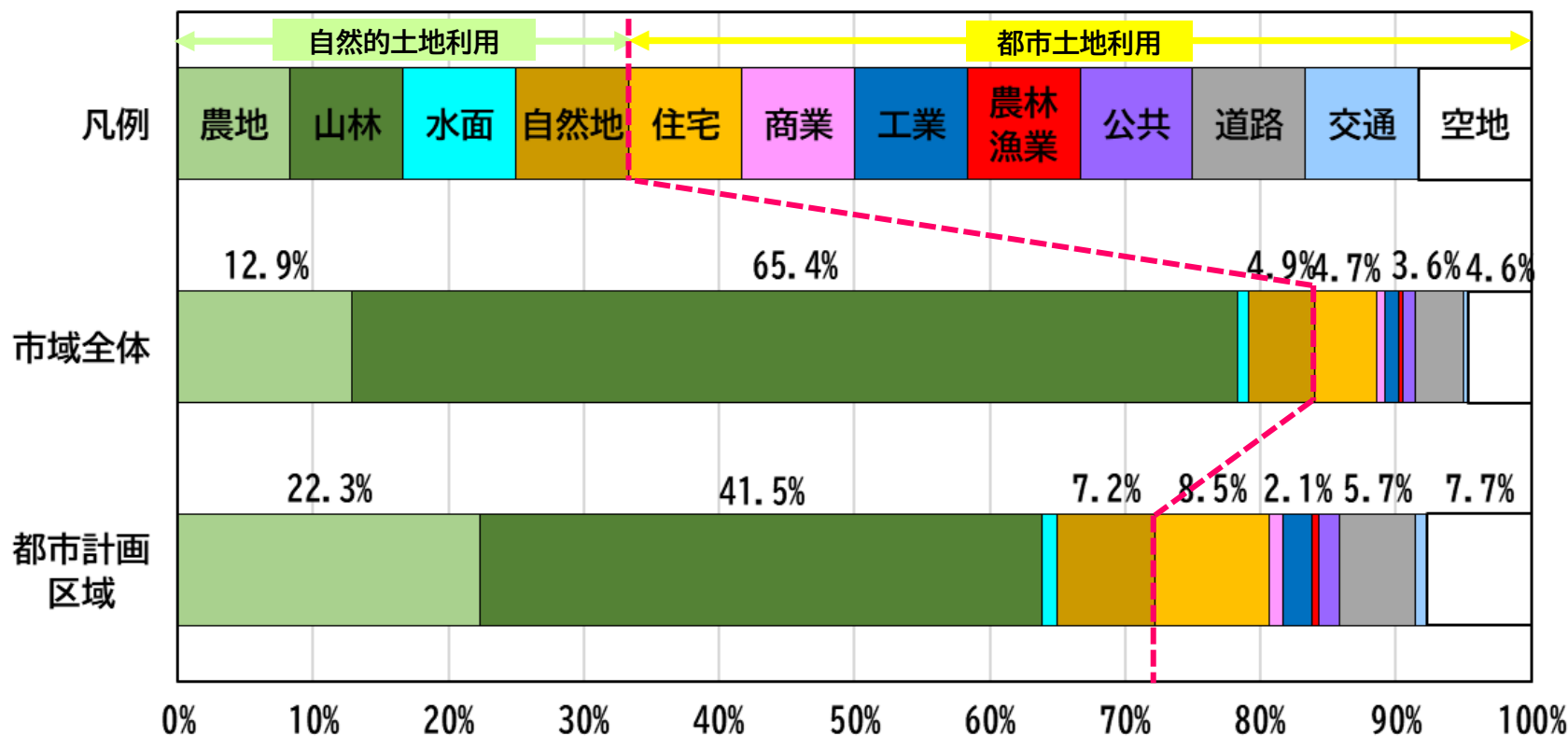


出典: 令和2年度土地利用現況調査

1.3 土地利用

- 土地利用の割合を市域全体で見ると、農地や山林を合計した自然的土地利用が80%と、市の大部分を占めている
- 都市計画区域で見ると、自然的土地利用が65%、都市的土地利用が35%と、自然豊かなまちを形成している

【土地利用の割合】



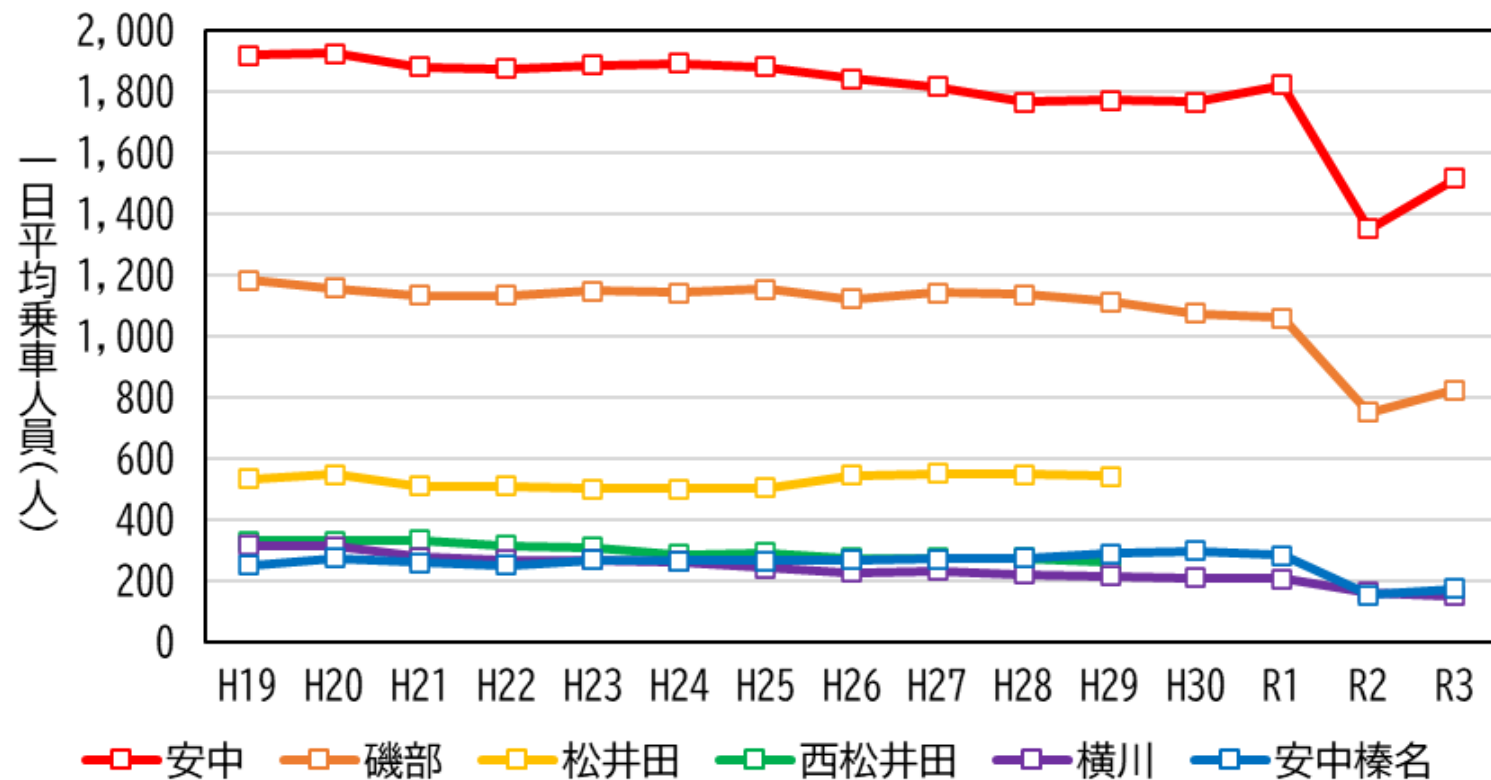
- 道路ネットワークは、市内を東西に通る国道18号と、南北に通る西毛広域幹線道路を中心にネットワークを形成している

This map illustrates the road network around Maibara City. It includes a legend in the top right corner identifying four types of roads: National Roads (brown), Prefectural Roads (orange), Expressways (green), and the Isemae Area Main Road (red). The map shows several major roads, including Route 406 running north-south and Route 18 running east-west. Key locations marked include Maibara Station, Anshu Station, and various local landmarks like Maibara Lake and the Maibara River. A scale bar at the bottom left indicates distances from 0 to 10 km, and a north arrow is also present.

1.4 交通

- 市内の鉄道は、安中駅が最も利用され、次いで磯部駅、松井田駅の順で利用されている
- H19（2007）年以降、どの駅も横ばいで推移しているが、R2（2020）年は新型コロナウイルスの影響を受け大きく減少、翌年は増加したが以前の推移には回復していない

【市内鉄道駅の1日平均乗車人員】



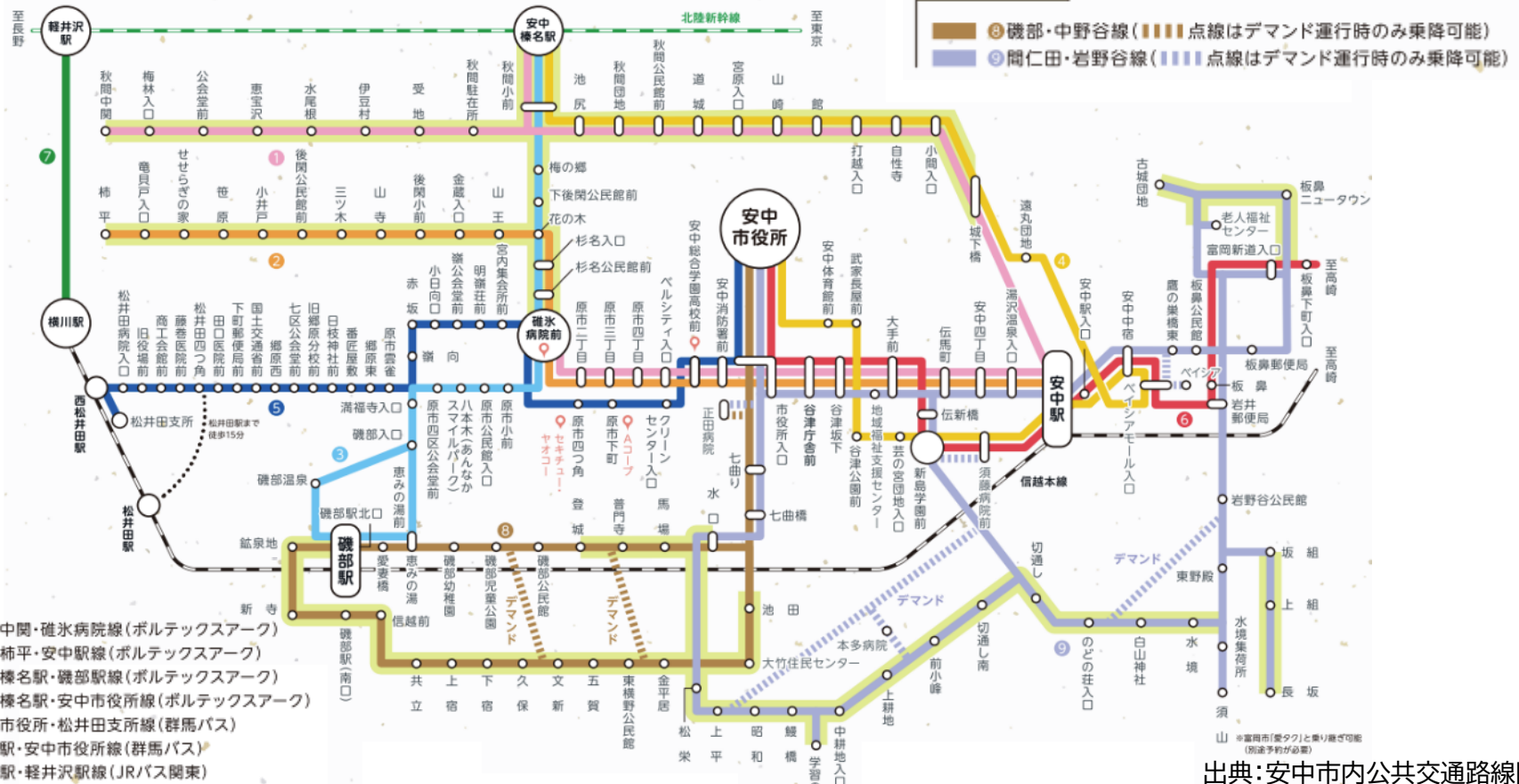
※H30年以降の松井田駅・西松井田駅は、無人駅化によりデータなし

出典：JR東日本ウェブサイト

1.4 交通

- 市内には路線バスが3社の計7路線、乗合タクシーが1社の計2路線運行している
- 安中駅にはバス4路線、タクシー1路線が通っている
- タクシーは午前中は定期路線運行、午後はデマンド運行

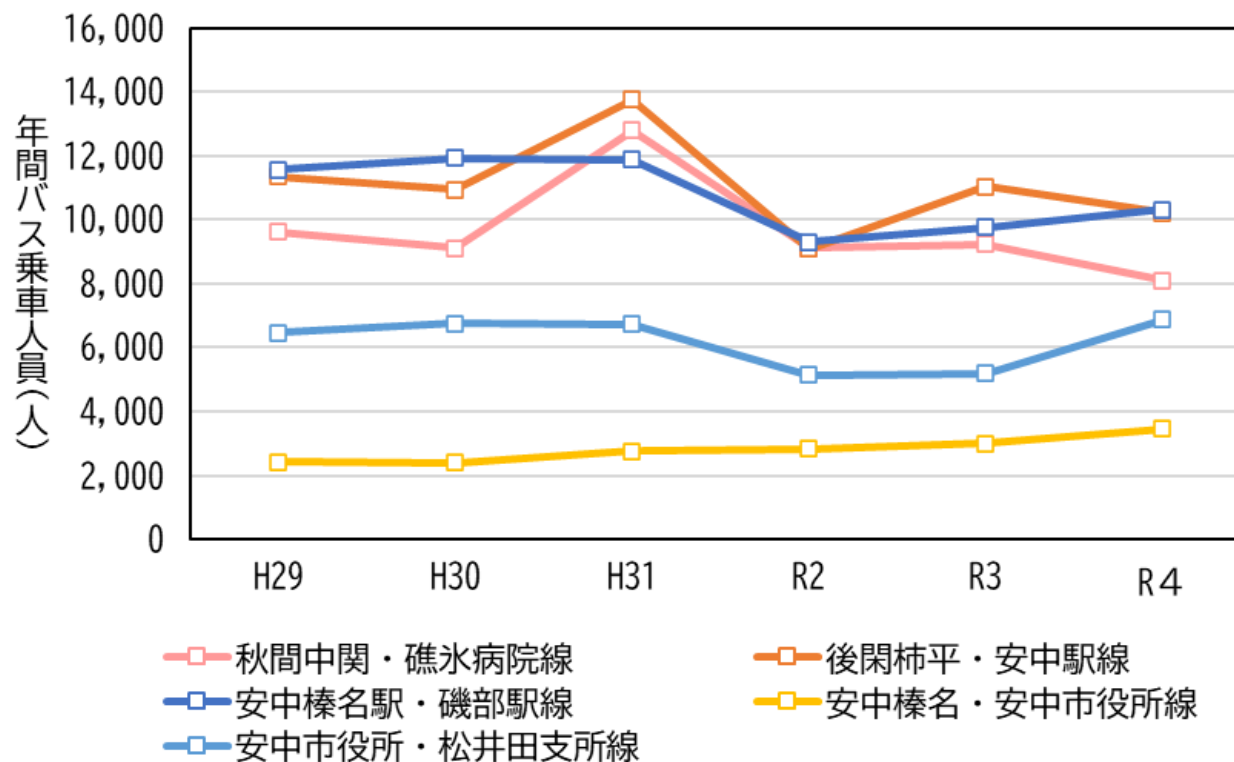
【路線バス、乗合タクシーの路線図】



1.4 交通

- R4(2022)年は後閑柿平・安中駅線と安中榛名駅・磯部駅線の乗車人員が**多い**
- R3(2021)年と比べR4(2022)年が**増加している**路線は安中榛名駅・磯部駅線と安中榛名駅・安中市役所線と安中市役所・松井田支所線の3路線である

【路線バス(群馬バス・ボルテックスアーク)の利用者数】



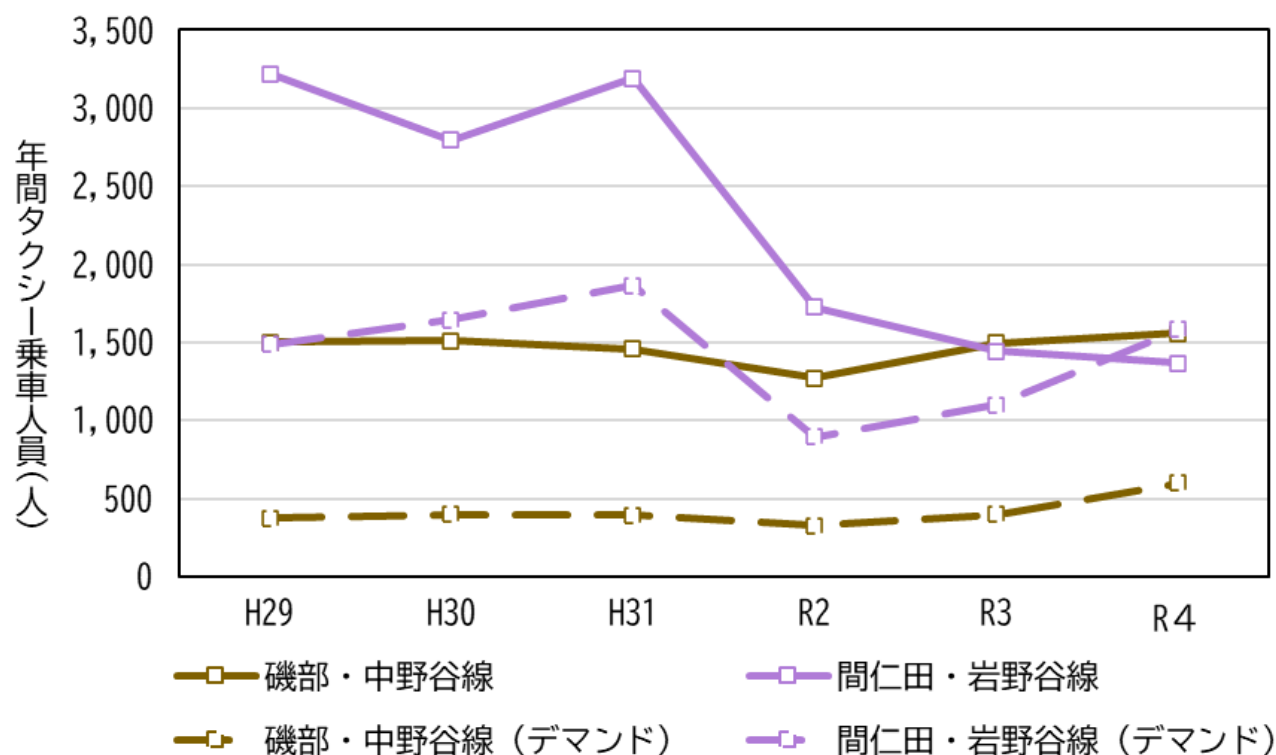
※横川駅・軽井沢駅線(JR関東バス)/高崎駅・安中市役所のデータ無

出典:安中市

1.4 交通

- R4(2022)年は磯部・中野谷線と間仁田・岩野谷線のデマンドが1500人を上回る
- 新型コロナウイルス流行のR2(2020)年の前後では間仁田・岩野谷線の乗車人員が約半分で減少している

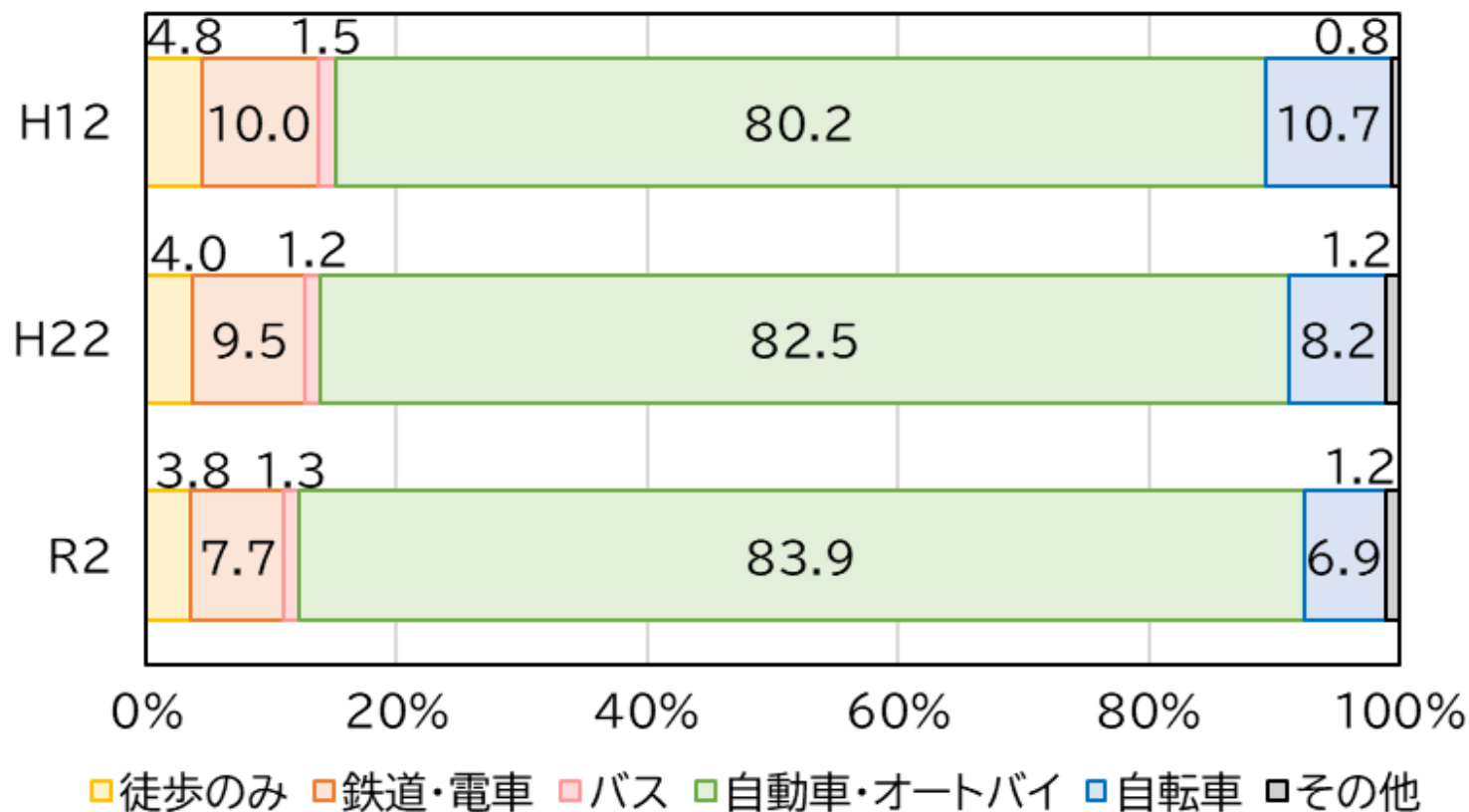
【乗合タクシー(安中タクシー)の利用者数】



1.4 交通

- 通勤・通学時の利用交通手段は、自動車・オートバイの割合が最も多く、H12（2000）年以降**増加傾向**
- その他の交通手段は、バスが横ばい傾向、徒歩、鉄道・電車、自転車**減少傾向**

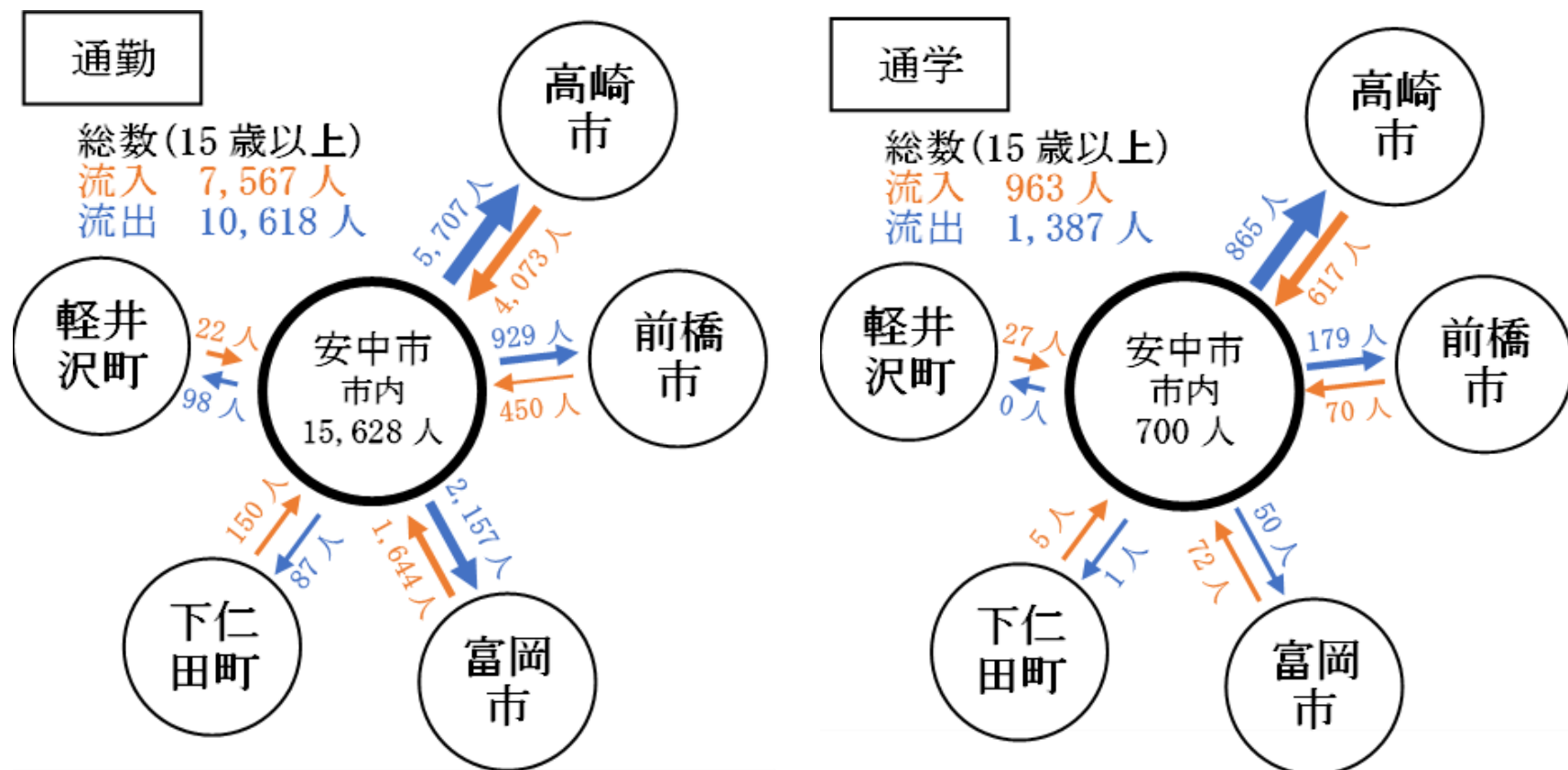
【通勤・通学時の利用交通手段】



1.4 交通

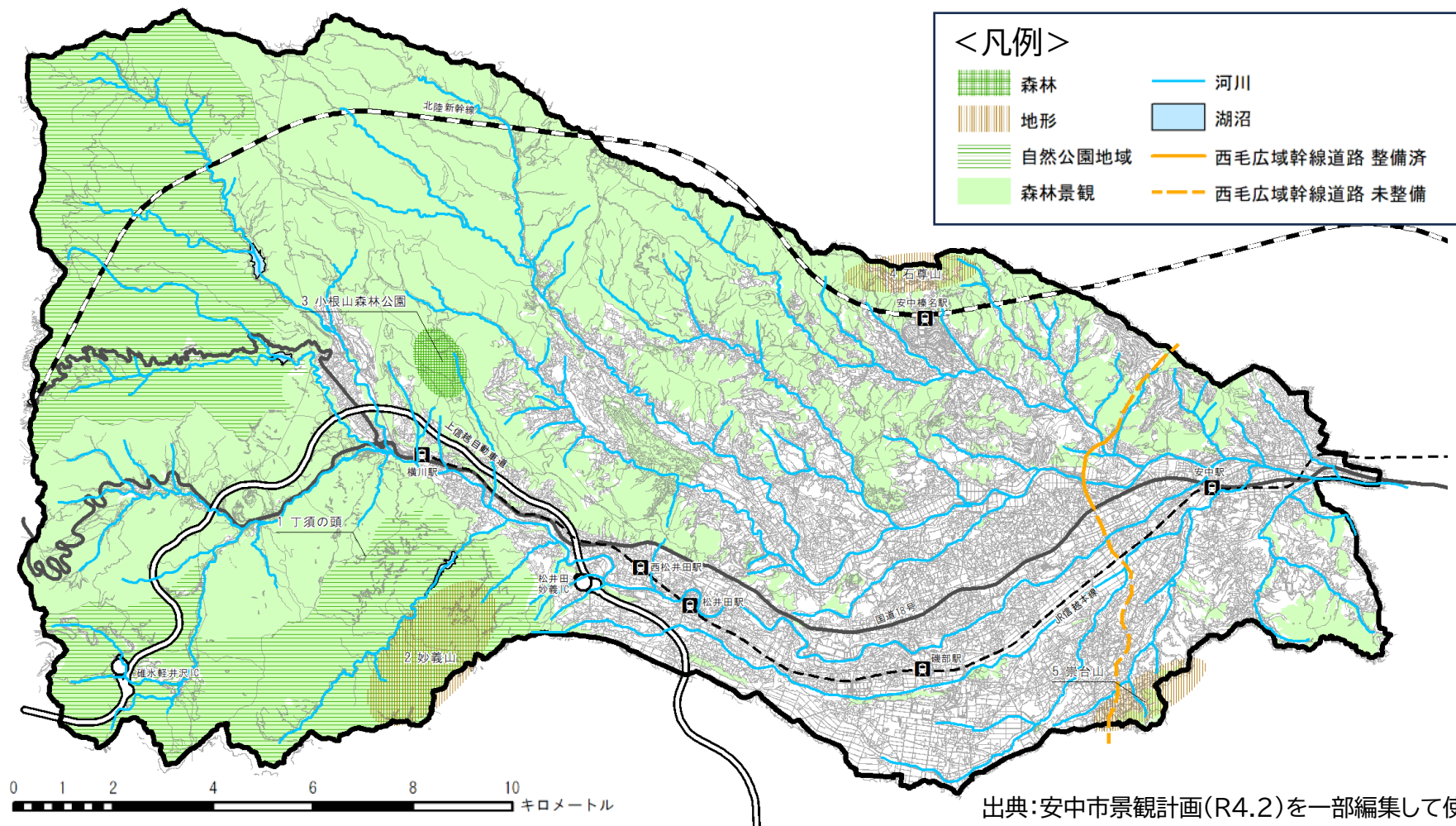
- 通勤・通学ともに流出超過であり、高崎市、富岡市、前橋市への流出が多い
- また、高崎市への流出の合計が6,572人（流出全体の54.7%）で最も多く、次に富岡市への流出の合計が2,207人（流出全体の18.4%）と、隣接する2市への流出が多い

【通勤・通学流動】



1.5 水・みどり・環境

- 水・みどりともに、市全域に分布しており、豊かな自然環境が広がっている

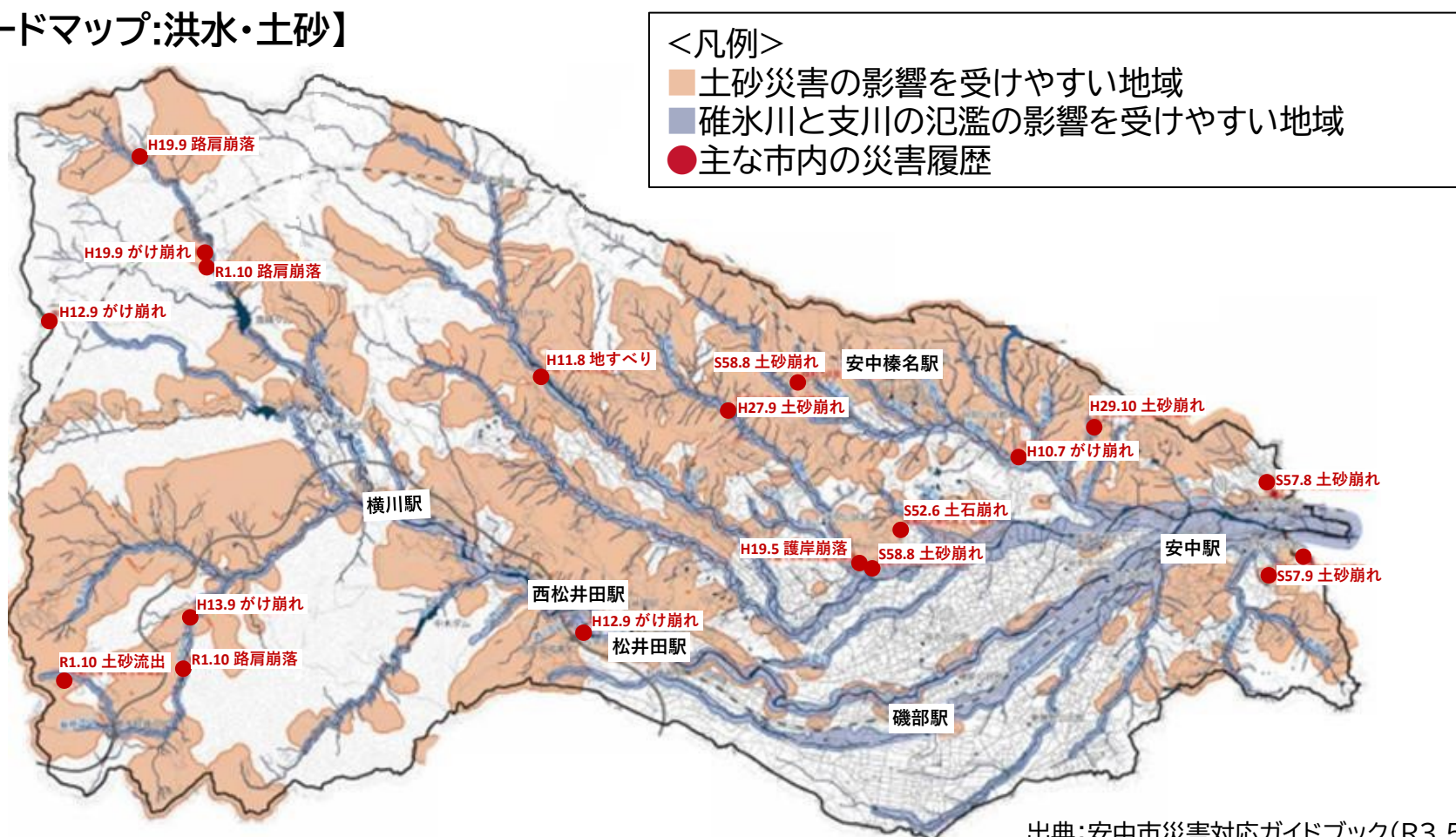


出典:安中市景観計画(R4.2)を一部編集して使用

1.6 安全・安心（防災）

- 碓氷川や九十九川、秋間川をはじめとする河川沿川で、洪水の危険性が高く、特に安中駅周辺や磯部駅周辺、谷地での被害が予測されている
- 市内の山間部において、土砂災害の影響を受けやすい地域が広く分布している

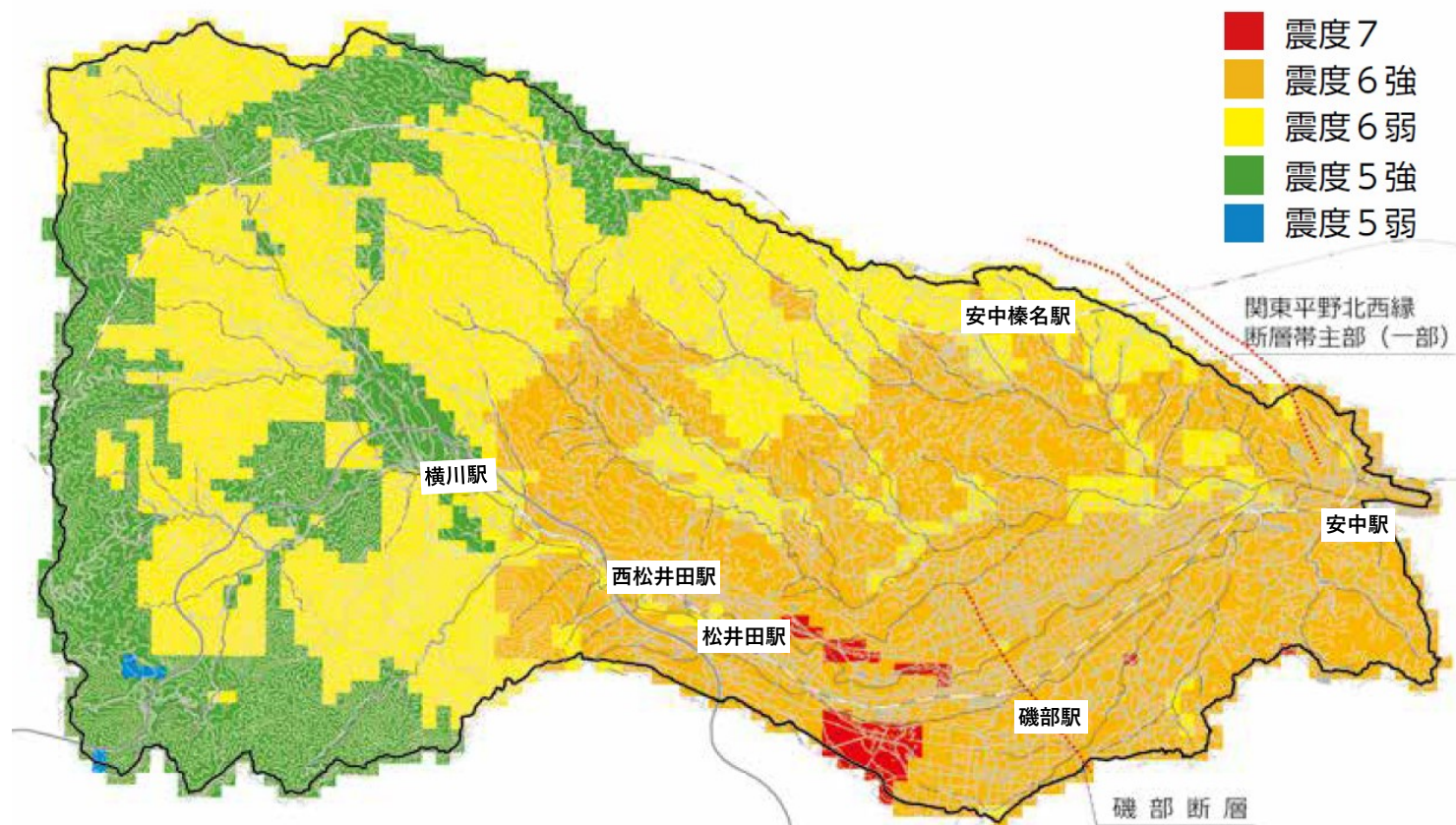
【ハザードマップ:洪水・土砂】



1.6 安全・安心（防災）

- 市内の主な活断層は、関東平野北西部緑断層帯主部と礫部断層がある
- 市の東部に地震の影響を受けやすい地域が広く分布している
- 特に市の南部、礫部駅と松井田駅間が地震の影響を受けやすい地域となる

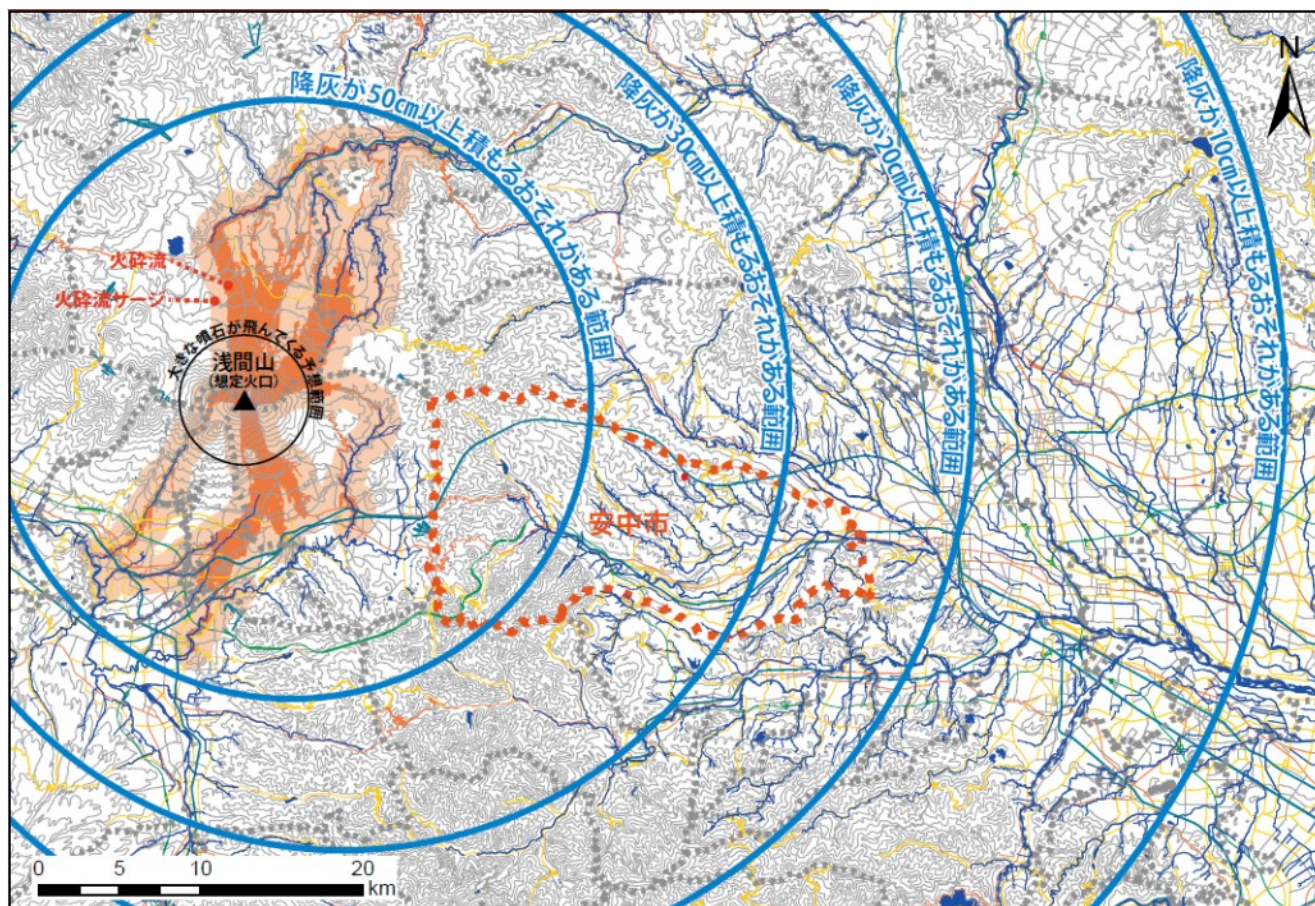
【ハザードマップ：活断層】 ※「関東平野北西部緑断層帯主部」「片品川左岸断層」「太田断層」の3つと県外2つの活断層を想定した場合の最大の震度分布。礫部断層は想定されていない。



1.6 安全・安心（防災）

- 浅間山は、天仁噴火(1108年)、天明噴火(1783年)など大規模噴火が発生している
- 明治以降は大規模な噴火はないが、小～中規模の噴火は頻繁に発生している
- 大規模な噴火が発生した場合、安中市は20～50cmほど降灰の影響が予想される

【ハザードマップ:浅間山大規模噴火時の降灰の影響範囲】

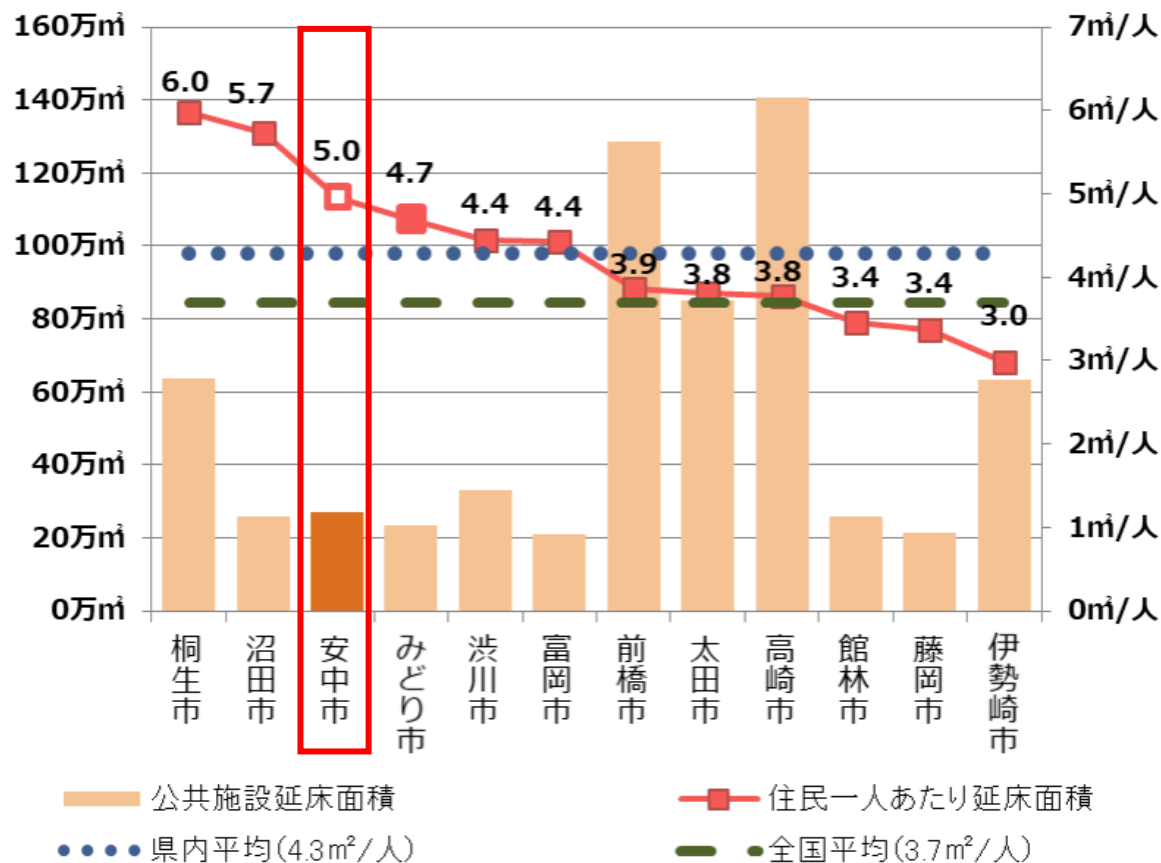


出典:安中市災害対応
ガイドブック(R3.5)

1.7 生活環境

- 安中市の公共施設の保有量は、住民一人あたりの延床面積でみると、全国、県内平均を上回っており、同県他市では3番目に多い

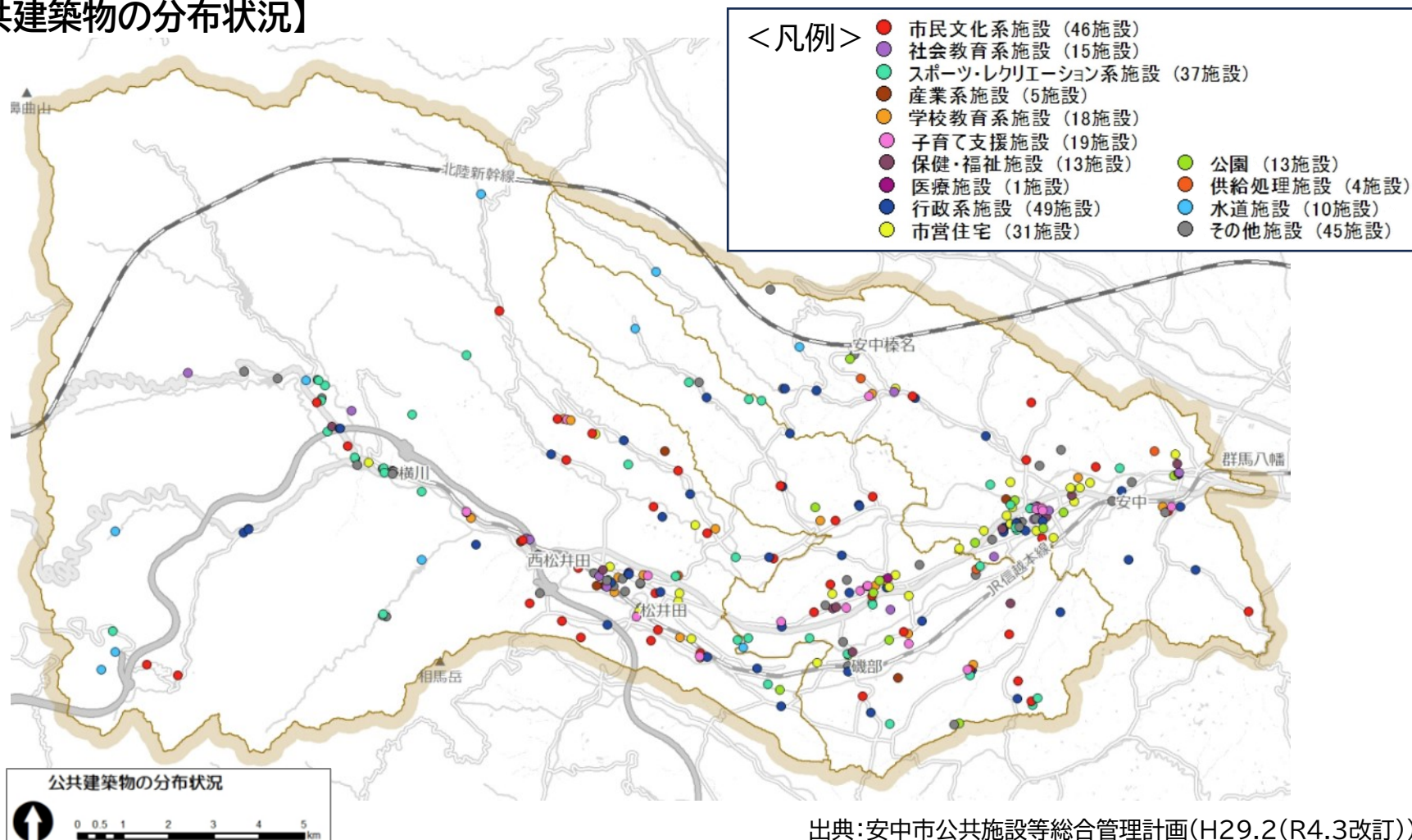
【公共施設の保有量(他市との比較)】



1.7 生活環境

- 市内の公共施設は、市東部に多く分布しており、特に駅周辺や市役所近郊に集中している

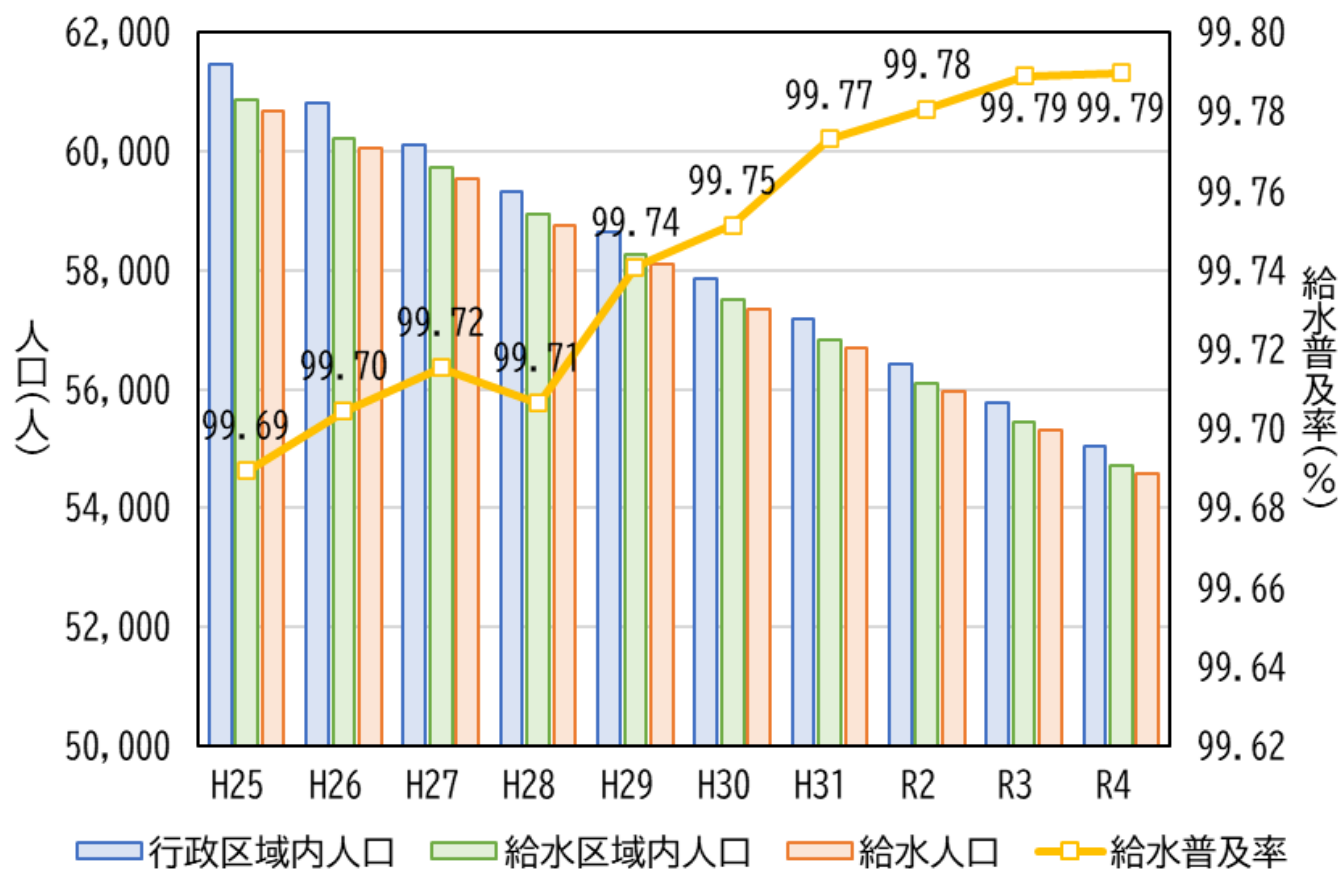
【公共建築物の分布状況】



1.7 生活環境

- 上水道の給水普及率は、H25(2013)年以降増加傾向にあり、R4(2022)年では99.79%と高い水準を保っている

【上水道の給水人口と普及率】



1.7 生活環境

- し尿処理施設 1 施設、廃棄物処理施設 2 施設で、計 3 施設が設置されている
- 安中・松井田一般廃棄物最終処分場は現在稼働終了している

【処理施設の設置状況】

番号	施設名称	建築年度
①	安中榛名駅周辺浄化センター	H15
②	碓氷川クリーンセンター	H9
③	安中・松井田一般廃棄物最終処分場	S61

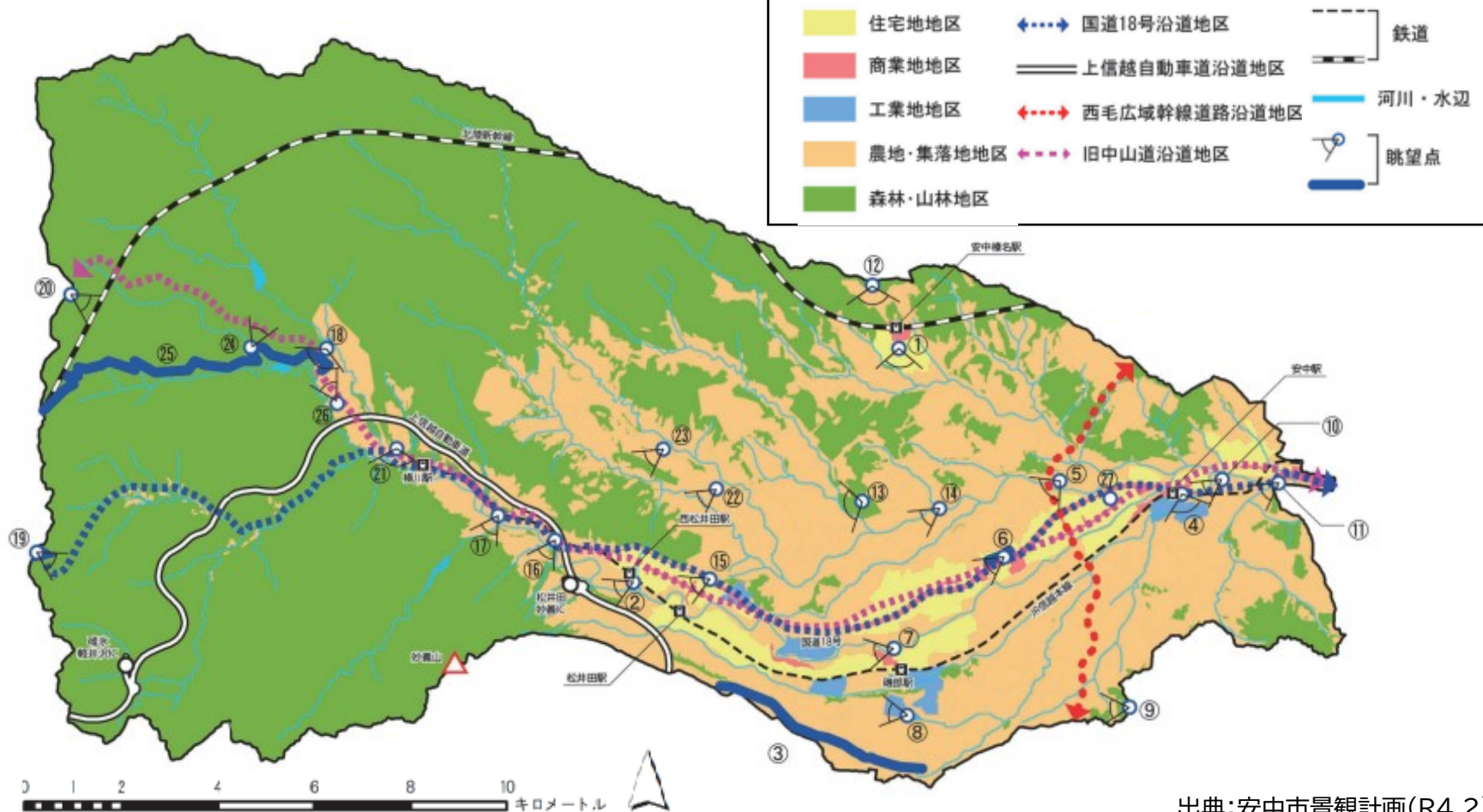
※現在、安中・松井田一般廃棄物最終処分場は稼働終了



1.8 景観

- 土地利用方針に加え、特に景観への配慮が必要な場所に別途方針を追加
- 本市ならではの景観を楽しむことができる眺望点を設定

【景観形成方針図】



1. 安中市の現状について

1.1 人口世帯等

1.2 産業

1.3 土地利用

1.4 交通

1.5 水・みどり・環境

1.6 安全・安心（防災）

1.7 生活環境

1.8 景観

2. 市民意向調査結果【速報版】

2.1 調査概要

2.2 回答者の属性

2.3 現在の安中市について

2.4 将来の安中市について

2.1 調査概要

- 都市計画マスタープランの策定にあたって、市民や安中市を利用する方からの意見を広くうかがうため、アンケートを実施
- 6月5日～16日までの2週間の集計結果を速報版として整理

【調査概要】

- 回答方法 調査票（紙） または WEB回答
- 対象者
 - ① 安中市に在住の満18歳以上の方から無作為に2,000人を抽出
【調査票(紙)またはWEB】
 - ② ①の対象者に関わらずすべての方を対象にWEB回答で受付
 - ③ 市内の高校に通学する生徒
※①②とは別に集計
- 実施期間 6月5日～6月30日

【その他調査】

- 事業者アンケート 市内の事業者100社を対象に実施

安中市 都市計画マスタープラン策定にあたって

まちづくりに関するアンケート調査 ご協力をお願い

日頃より、市政に対するご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、私たちの生活を取り巻く社会・経済情勢は、少子高齢・人口減少社会の進行はもとより、昨今の自然災害の頻発・激甚化や環境保全の必要性の高まりなど、目まぐるしく変化しています。

こうした近年の動向に対応したまちづくりを進めていけるよう、安中市では将来のまちづくりの基本的な方針を定める「都市計画マスタープラン」を策定いたします。

つきましては、市民の皆様の意向等を幅広くお伺いし、計画策定の参考にさせていただきたいと考えておりますので、ご多用のところ誠に恐縮ですが、アンケートのご協力をよろしくお願いいたします。

令和5年6月
安中市長 岩井 均

～本アンケートについて～

1. 対象者 安中市に在住する、満18歳以上の中から2,000人の方を無作為に抽出して配布しています。
- ※インターネット回答は、どなたでも参加可能です。

2. 回答方法 本調査票への記入・郵送 または インターネット回答

インターネットからの回答をご希望の方は二次元コードまたはURLよりアクセスしていただき、ご回答をお願いいたします。

<URL>

<https://arcg.is/0Djfu0>

<二次元コード>



3. 回答期日 6月30日（金）までにご回答・ご投函をお願いいたします。

4. その他
- ご記入が済みましたら、調査票に同封してあります返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、お近くの郵便ポストにご投函ください。
 - アンケートの回答内容につきましては、「安中市都市計画マスタープラン」策定の基礎資料とすることを目的としており、個人が特定できる形で利用されることはありません。
 - 回答を控えたい設問は、未回答で構いません。
 - アンケートに関するご意見・ご質問につきましては、下記連絡先までお問い合わせください。

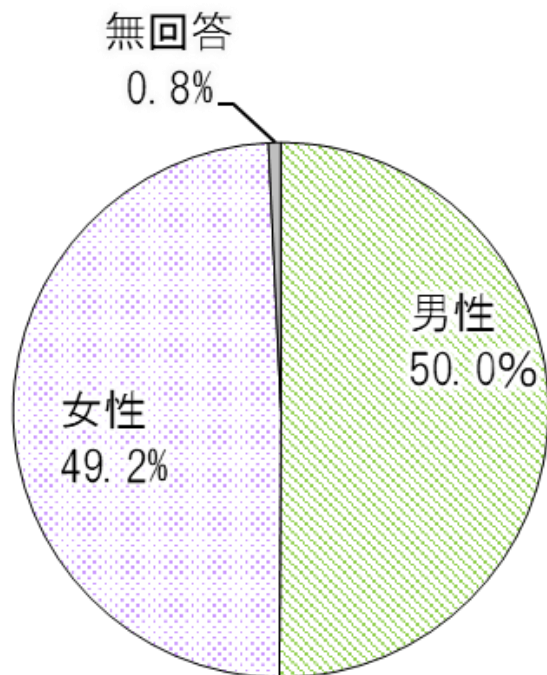
2.2 回答者の属性

◆ 性別と年齢構成について

- 回答者は、現時点で「男性」が267名、「女性」が262名、「無回答」が4名の計533名の方が回答（回答受付中）
- 年齢構成は、「70代」が最も多く36.1%、最も少ないのが「20代以下」で5.4%で、年齢が低くなるほど割合が減少

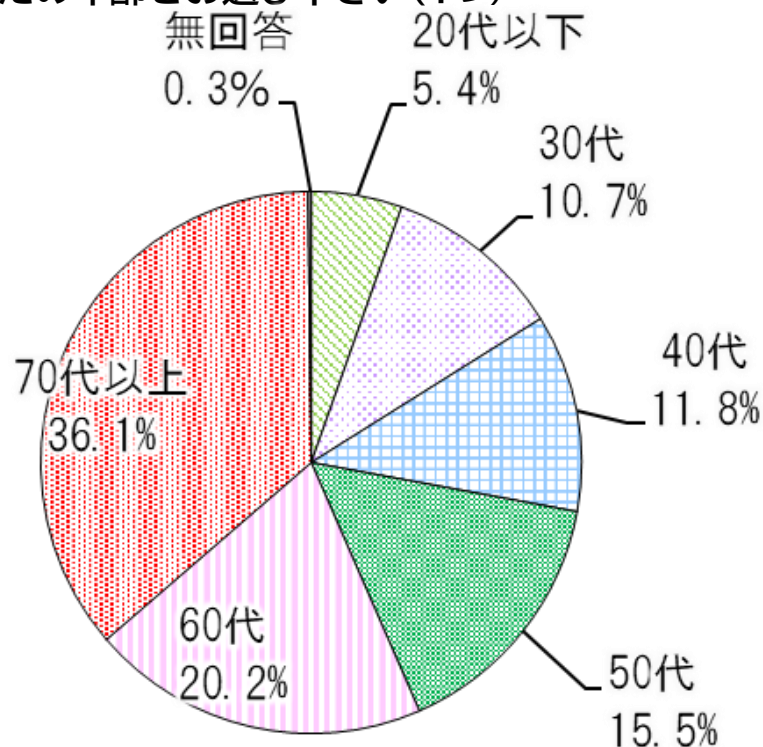
【性別】

あなたの性別をお選び下さい(1つ)



【年齢構成】

あなたの年齢をお選び下さい(1つ)



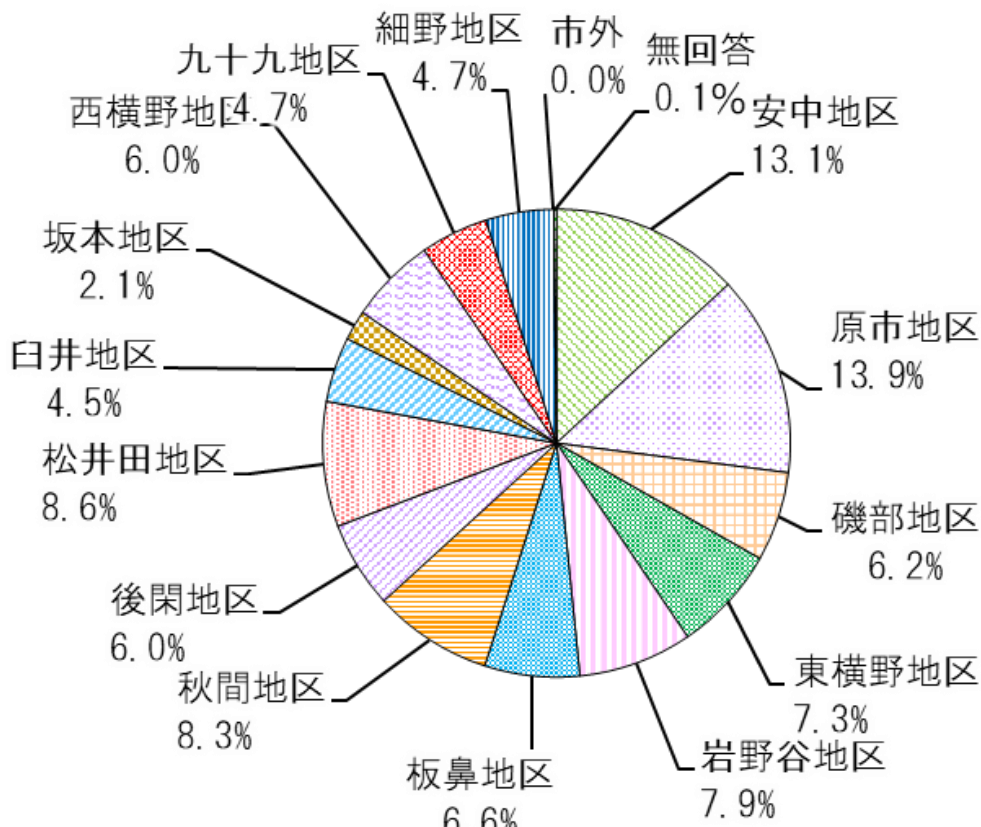
2.2 回答者の属性

◆ 居住地区について

- 居住地区は、「原市地区」居住が13.9%で最も多く、次いで「安中地区」が13.1%と多い
- 居住年数は、「20年以上」が72.3%と最も多い

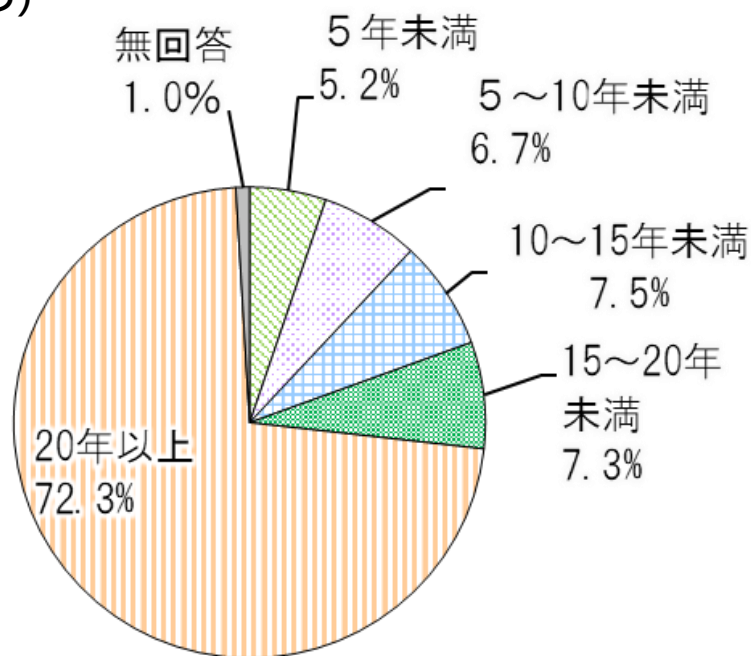
【現在の居住地区】

現在お住まいの地区をお選び下さい(1つ)



【居住年数】

現在の居住地にお住まいになって何年になりますか(1つ)



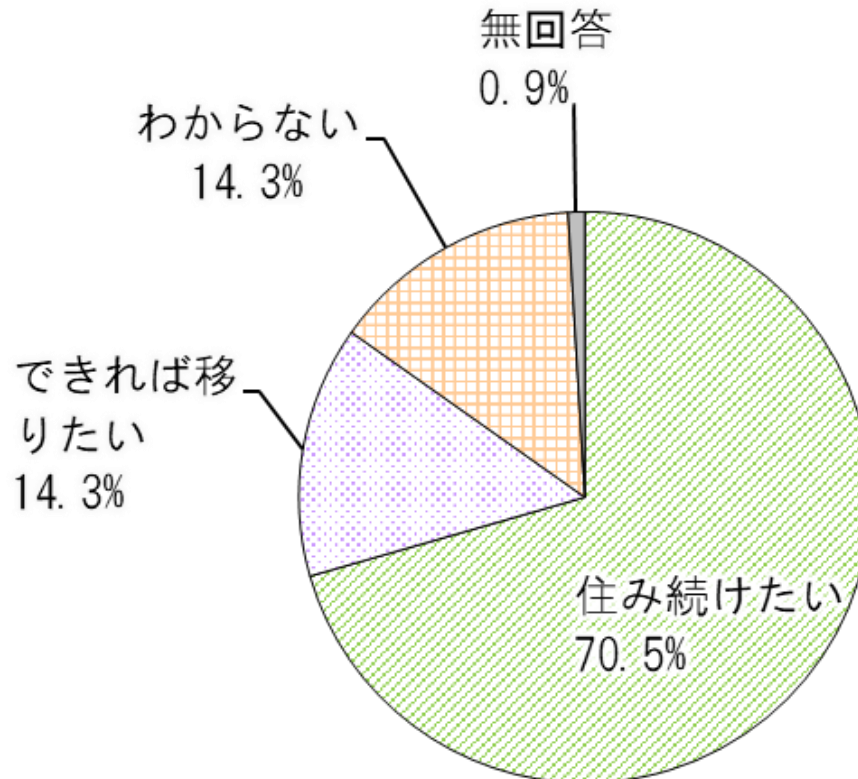
2.2 回答者の属性

◆ 居住地区について

- 「居住地区に住み続けたい」と考える人が70.5%
- 「できれば移りたい」と考える人が14.3%

【居住継続に対する意識】

あなたは今後も、現在の居住地に住み続けたいと思いますか(1つ)



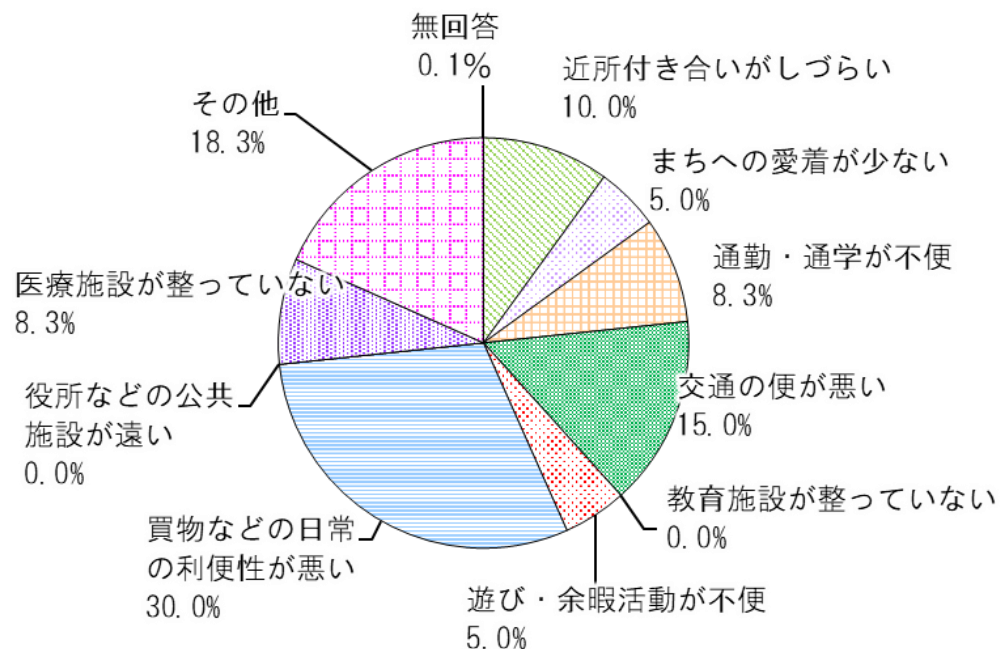
2.2 回答者の属性

◆ 居住地区について

- 「買い物など日常の利便性が悪い」を理由に転居を望む人が30.0%と最も多く、次いで「交通の便が悪い」が15.0%、「近所付き合いがしづらい」が10.0%が多い
- 「高崎市」を転居先に希望している人が43.1%と最も多い

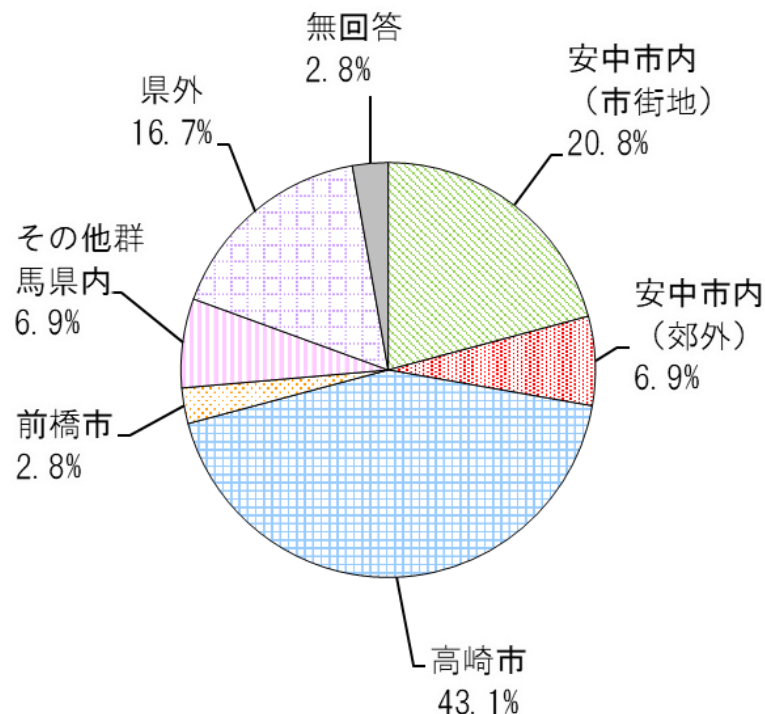
【転居を望む理由】

転居を望む理由を教えてください(1つ)



【希望する転居先】

希望する転居先を教えてください(1つ)



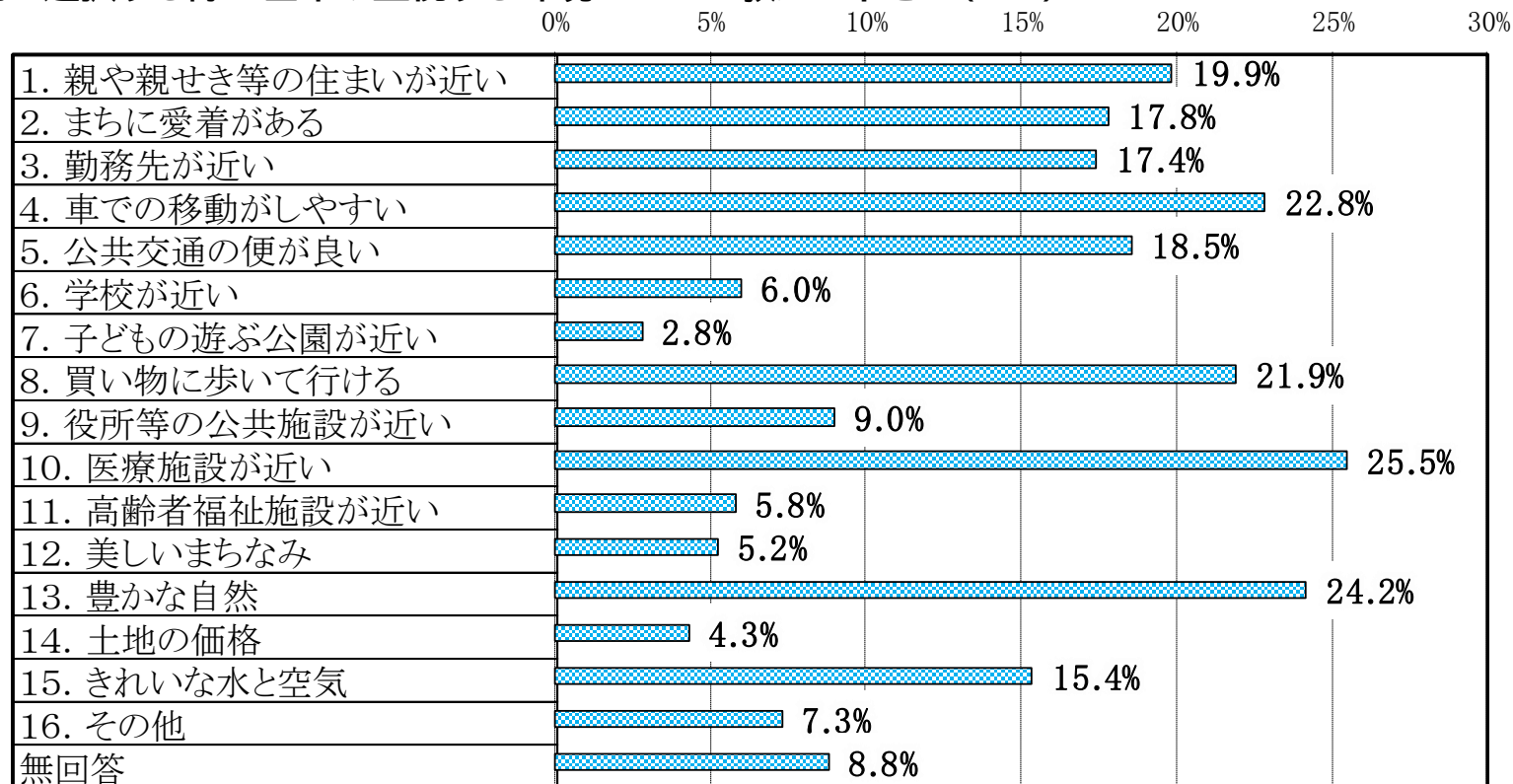
2.2 回答者の属性

◆ 居住地区について

- 「10.医療施設が近い」を選んだ人が25.5%と最も多く、次いで「13.豊かな自然」が24.2%、「4. 車での移動がしやすい」が22.8%と多い
- 「子どもの遊ぶ公園が近い」を選んだ人が2.8%と最も少ない

【定住地を選択する際の基準】 集計母数533名

定住地を選択する際の基準や重視する環境について教えてください(3つ)



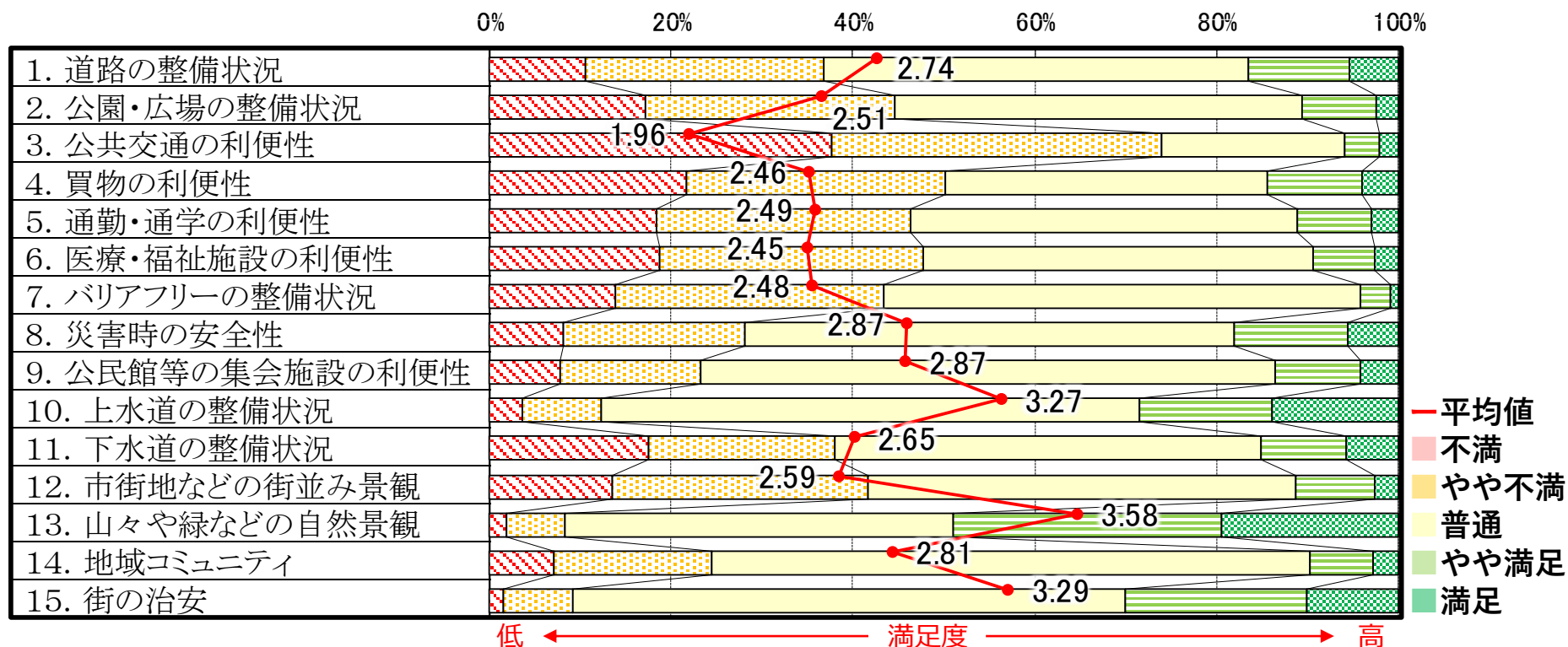
2.3 現在の安中市について

◆ 現在の満足度について

- 「公共交通の利便性」について不満・やや不満と感じる人が約74%と最も多い
- 「山々や緑などの自然景観」について満足・やや満足と感じる人が約50%と最も多い

【望む将来像】

安中市の地域の生活環境に関する満足度を教えてください(1つ)



※平均値（不満・・・1、やや不満・・・2、普通・・・3、やや満足・・・4、満足・・・5）無回答は除く。

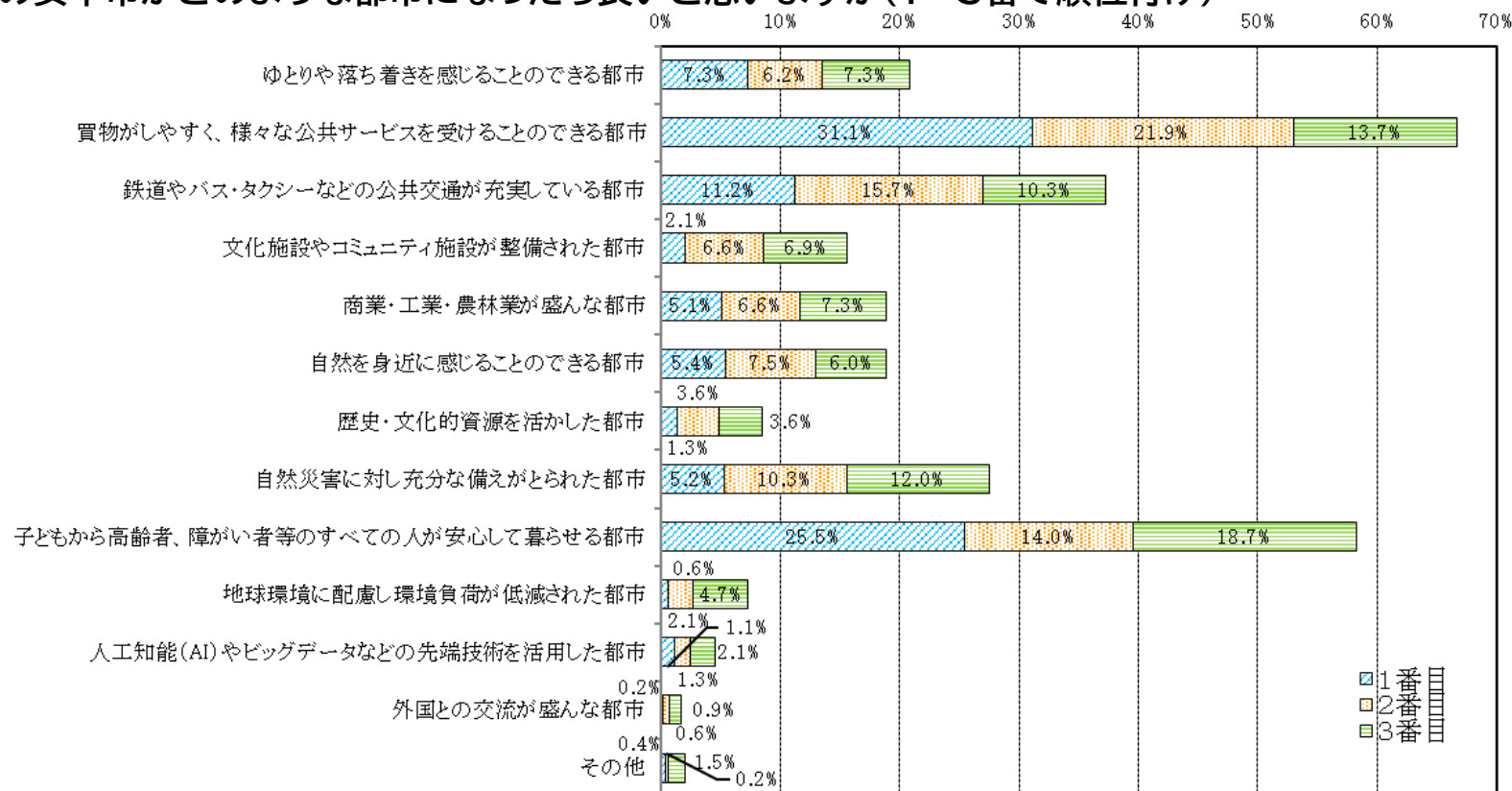
2.4 将来の安中市について

◆ 将来都市像について

- 「買物がしやすく、様々な公共サービスを受けることのできる都市」を望んでいる人が最も多く、次いで「子どもから高齢者、障がい者等のすべての人が安心して暮らせる都市」が多い

【望む将来像】

将来の安中市がどのような都市になったら良いと思いますか(1～3番で順位付け)



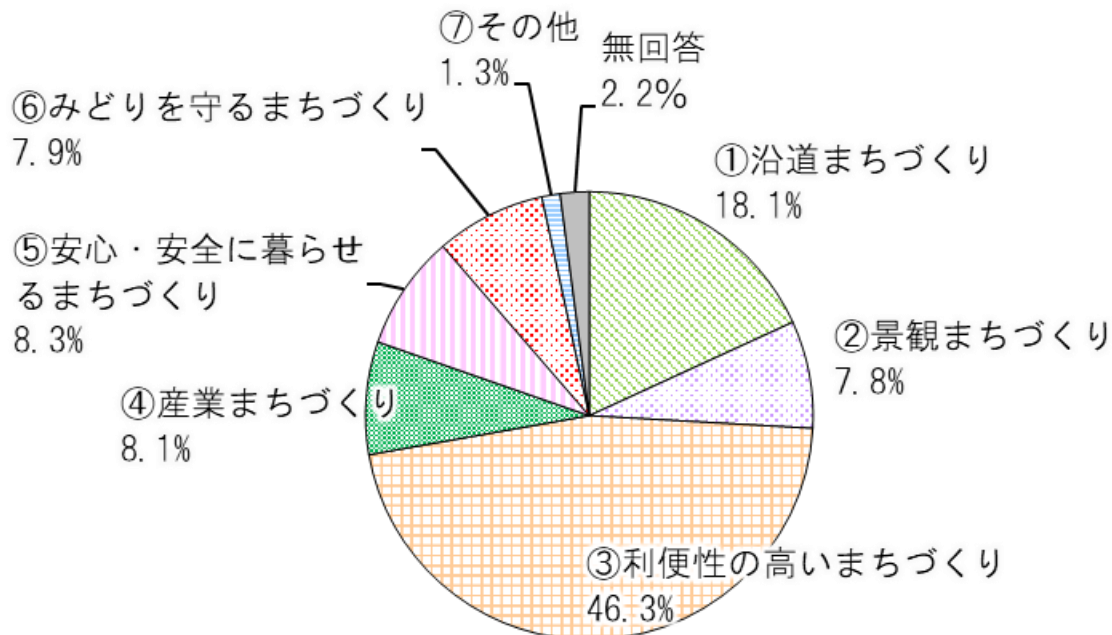
2.4 将来の安中市について

◆ 土地利用について

- 「③利便性の高いまちづくり」が重要だと考える人が46.3%と最も多く、次いで「①沿道まちづくり」が18.1%と多い

【土地利用】

安中市の「土地利用」についてどのような取組が重要だと思いますか(1つ)



番号	質問内容
①	幹線道路沿いにおける商業機能の誘導や、利便性・快適性の高い住環境の形成等の沿道まちづくり
②	自然環境や良好な住環境を阻害するおそれのある建築物等の規制・誘導による、良好な環境や景観を保全するまちづくり
③	商業、医療・福祉、行政サービス等の都市機能を誘導し、様々な用事をまとめて済ませることのできる利便性の高いまちづくり
④	幹線道路等の既存インフラを活かした工業団地の増設・拡張や企業誘致など、産業が活発なまちづくり
⑤	災害リスクが高い地域における土地利用の規制、災害リスクが低い地域への誘導による、安全・安心に暮らせるまちづくり
⑥	豊かな自然環境や生活に身近なみどりを守るまちづくり
⑦	その他

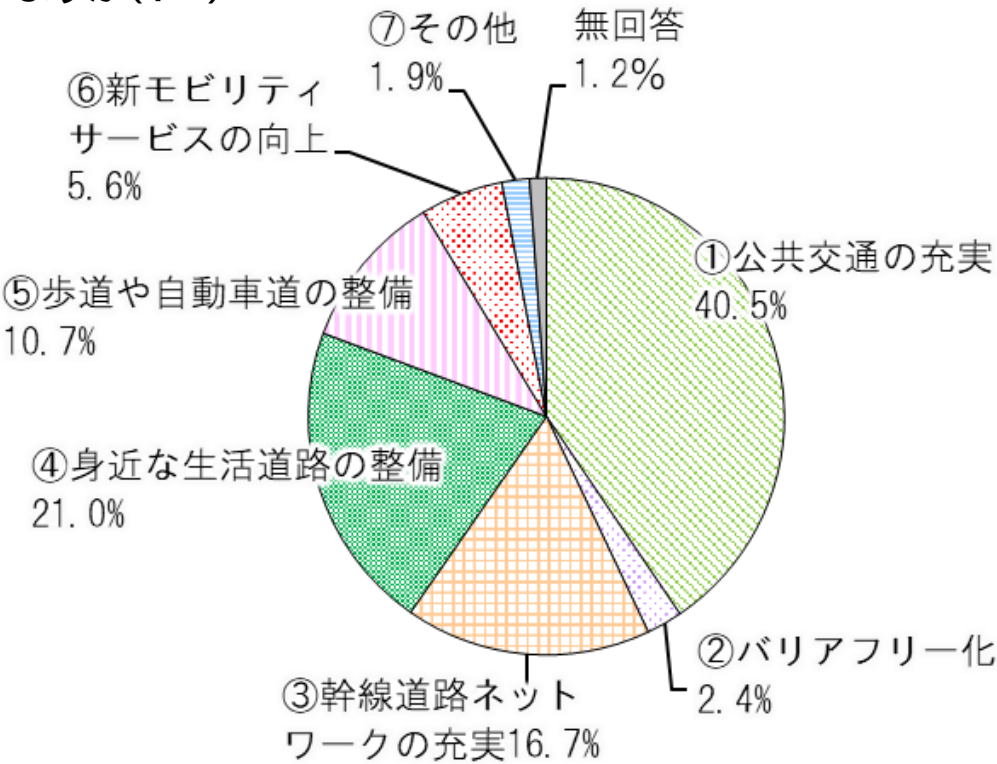
2.4 将来の安中市について

◆ 交通について

- 「①公共交通の充実」が重要だと考える人が40.5%と最も多く、次いで「④身近な生活道路の整備」が21.0%と多い

【交通】

安中市の「交通」についてどのような取組が重要だと思いますか(1つ)



番号	質問内容
①	鉄道やコミュニティバス、乗合タクシーなどの公共交通の充実
②	駅や道路などにおけるバリアフリー化
③	西毛広域幹線道路や国道18号の整備など、幹線道路ネットワークの充実
④	身近な生活道路の整備
⑤	歩道や自転車道（自転車通行帯）の整備
⑥	新モビリティサービスによる移動の利便性向上、外出しやすい環境の創出
⑦	その他

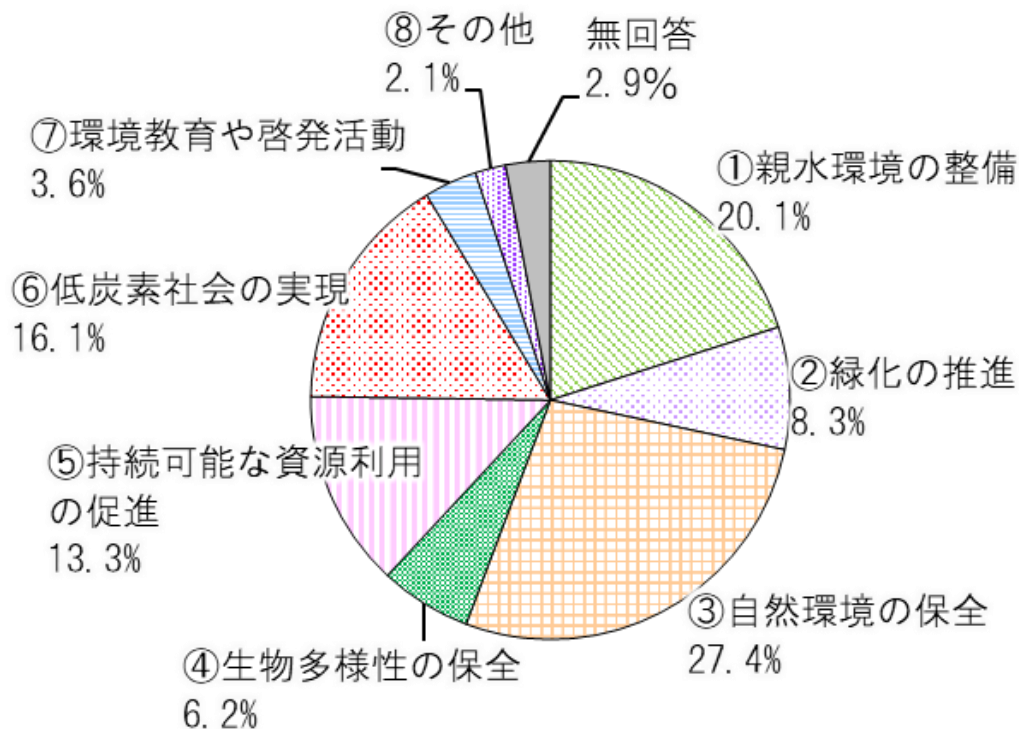
2.4 将来の安中市について

◆ 水・みどり・環境について

- 「③自然環境の保全」が重要だと考える人が27.4%と最も多く、次いで「①親水環境の整備」が20.1%と多い

【水・みどり・環境】

安中市の「水・みどり・環境」についてどのような取組が重要だと思いますか(1つ)



番号	質問内容
①	遊歩道や親水空間など、身近に水・みどりに触れられる環境の整備
②	駅前や道路沿いにおいて、街路樹の整備や壁面緑化などによる、緑化の推進
③	水源地や山林・農地など、自然環境の保全
④	自然に生息・生育する生き物からなる、生物多様性の保全
⑤	自然資源の過剰な開発や乱獲を抑制し、持続可能な資源利用の促進
⑥	再生可能エネルギーの活用などによる、低炭素社会の実現
⑦	学校や地域でのワークショップやセミナーなどによる、環境教育や啓発活動
⑧	その他

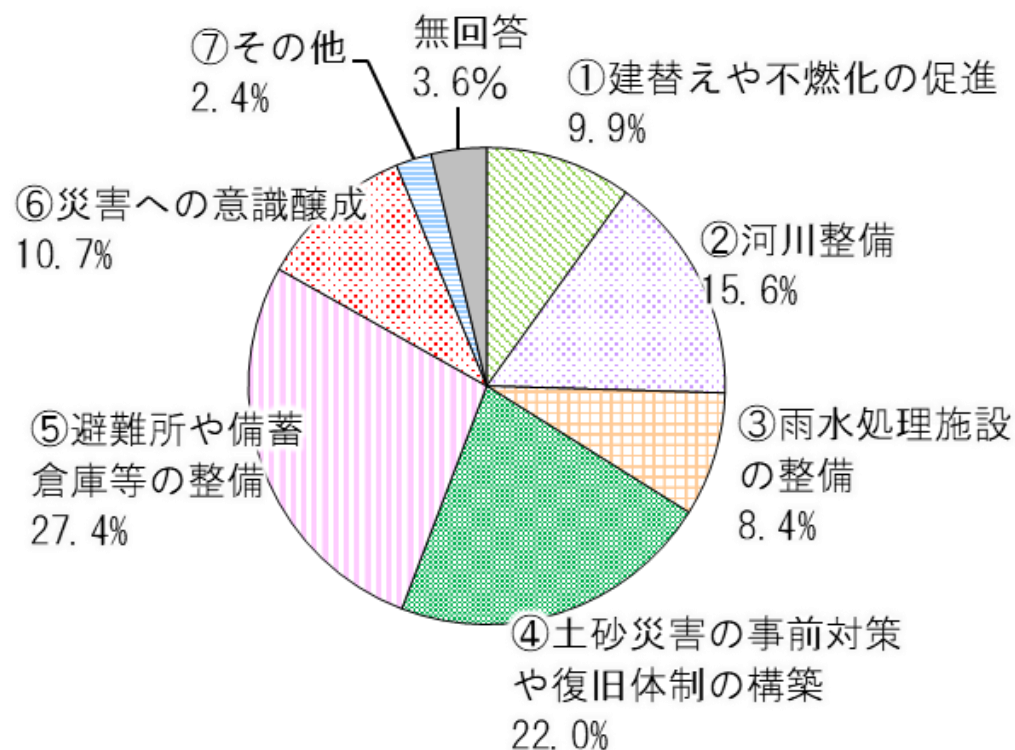
2.4 将来の安中市について

◆ 安全・安心（防災）について

- 「⑤避難所や備蓄倉庫等の整備」が重要だと考える人が27.4%と最も多く、次いで「④土砂災害の事前対策や復旧体制の構築」が22.0%と多い

【安全・安心(防災)】

安中市の「安全・安心(防災)」についてどのような取組が重要だと思いますか(1つ)



番号	質問内容
①	地震による倒壊や火災による延焼を防ぐための、建替えや不燃化の促進
②	洪水による浸水被害を防ぐための、河川の改修・維持管理
③	雨水排水施設や雨水貯留施設などの整備・維持管理
④	土砂災害の被害最小化のための、事前対策や復旧体制の構築
⑤	緊急時の避難所・避難場所や備蓄倉庫等の整備
⑥	防災情報の発信や避難訓練などによる災害への意識醸成
⑦	その他

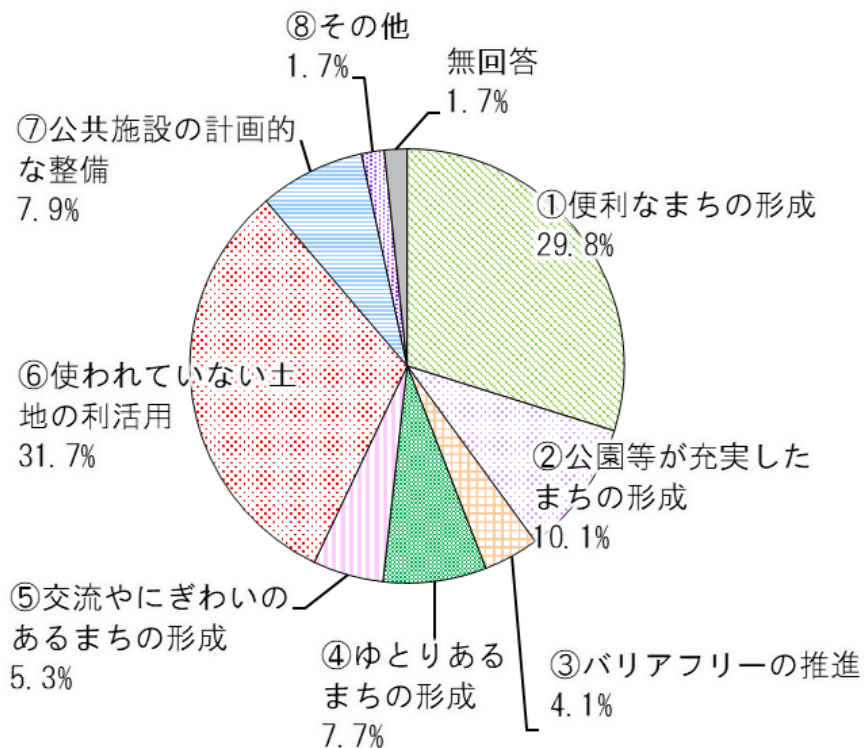
2.4 将来の安中市について

◆ 生活環境について

- 「⑥使われていない土地の利活用」が重要だと考える人が31.7%と最も多く、次いで「①便利なまちの形成」が29.8%と多い

【生活環境】

安中市の「生活環境」についてどのような取組が重要だと思いますか(1つ)



番号	質問内容
①	お店や病院などが近くにある、便利に生活できるまちの形成
②	子どもの遊び場や運動できる公園などの環境が整ったまちの形成
③	バリアフリーの推進による、誰もが利用しやすいまちの形成
④	狭あい道路の改善やオープンスペースの創出など、ゆとりのあるまちの形成
⑤	地域のコミュニティ活動の促進による、交流やにぎわいあるまちの形成
⑥	空地や空き家などの使われていない土地の利活用による、魅力あるまちの形成
⑦	道路、公園、下水道などの公共施設の計画的な整備・維持管理
⑧	その他

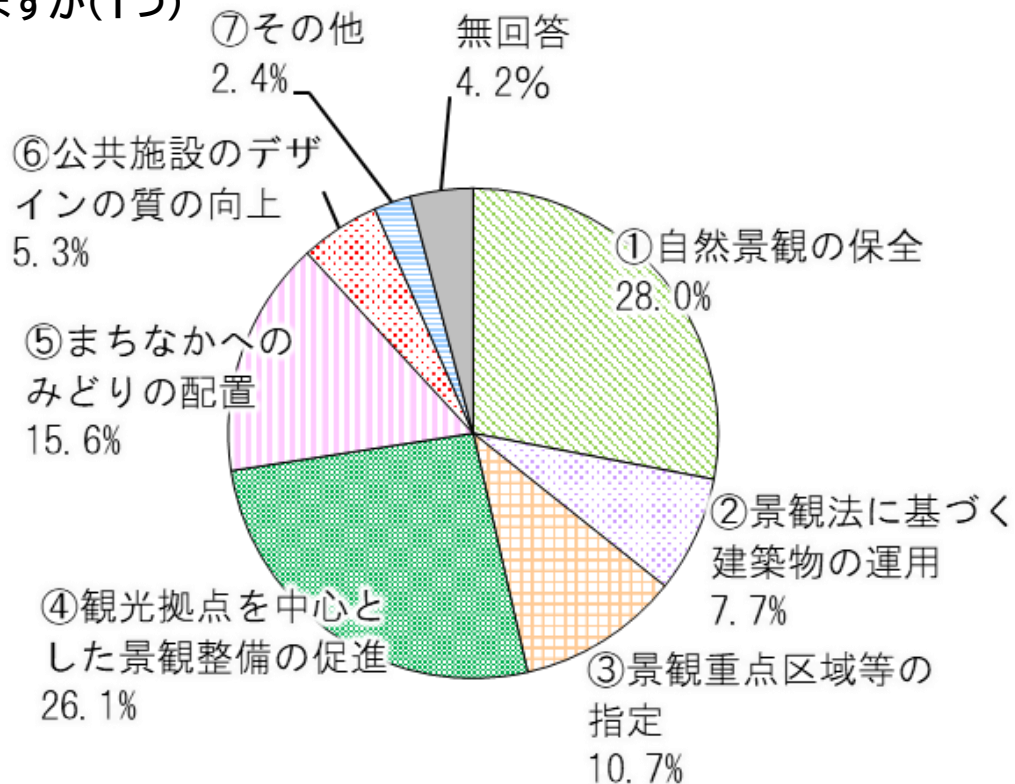
2.4 将来の安中市について

◆ 景観について

- 「①自然景観の保全」が重要だと考える人が28.0%と最も多く、次いで「④観光拠点を中心とした景観整備の促進」が26.1%と多い

【景観】

安中市の「景観」についてどのような取組が重要だと思いますか(1つ)



番号	質問内容
①	妙義山などの自然景観を現在の姿のままで保全
②	建築物等の建築など、景観法に基づく適切な運用
③	景観重点区域等の指定によるまちなみの保全・活用
④	横川駅や磯部駅周辺の観光拠点を中心とした景観整備の促進
⑤	敷地内の緑化など、まちなかにも緑豊かなゆとりのある景観の形成
⑥	公共施設のデザインの質の向上
⑦	その他

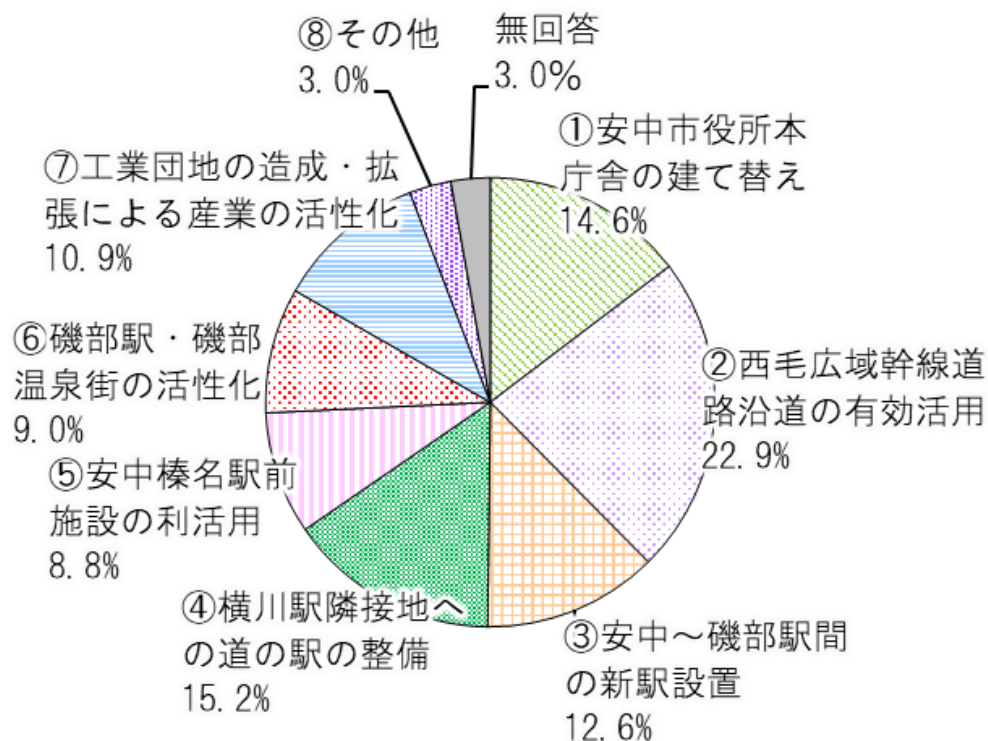
2.4 将来の安中市について

◆ 市の取組について

- 「②西毛広域幹線道路沿道の有効活用」に期待している人が22.9%と最も多く、次いで「④横川駅隣接地への道の駅の整備」が15.2%、「①安中市役所本庁舎の建替え」が14.6%と多い

【期待する取組】

現在、安中市が検討・実施している取組のうち、特に期待するものはなんですか(1つ)



番号	質問内容
①	機能的でシンプル・コンパクトな安中市役所本庁舎の建替え
②	西毛広域幹線道路沿道の有効活用によるまちづくり
③	安中駅～碓部駅間の新駅設置による新たなまちづくり
④	横川駅隣接地への道の駅の整備による観光誘客や交流人口の増加
⑤	安中榛名駅前施設の利活用による地域活性化
⑥	碓部駅・碓部温泉街の活性化
⑦	工業団地の造成・拡張による産業の活性化
⑧	その他

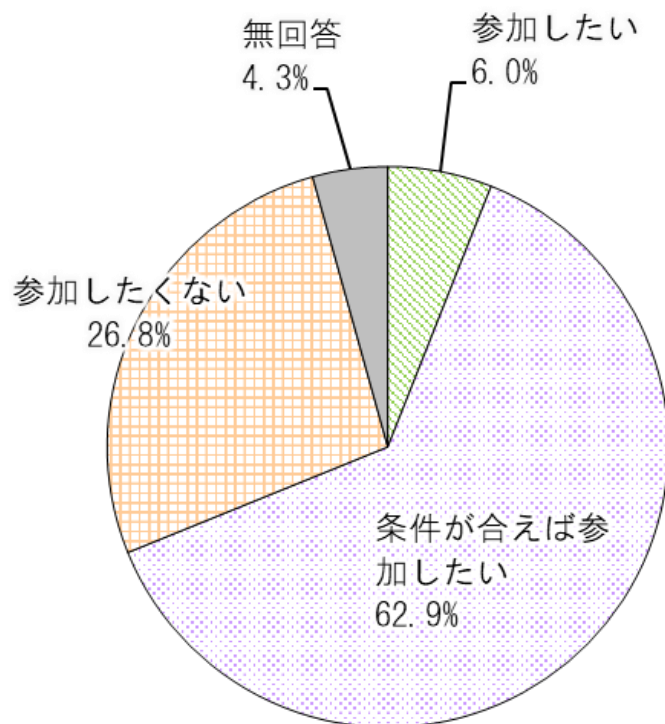
2.4 将来の安中市について

◆ 市民参加型のまちづくりについて

- まちづくり活動へ「条件が合えば参加したい」と考える人が62.9%
- 参加したいまちづくり活動の形態は「説明会」「パネル展」「懇談会」の順に多い

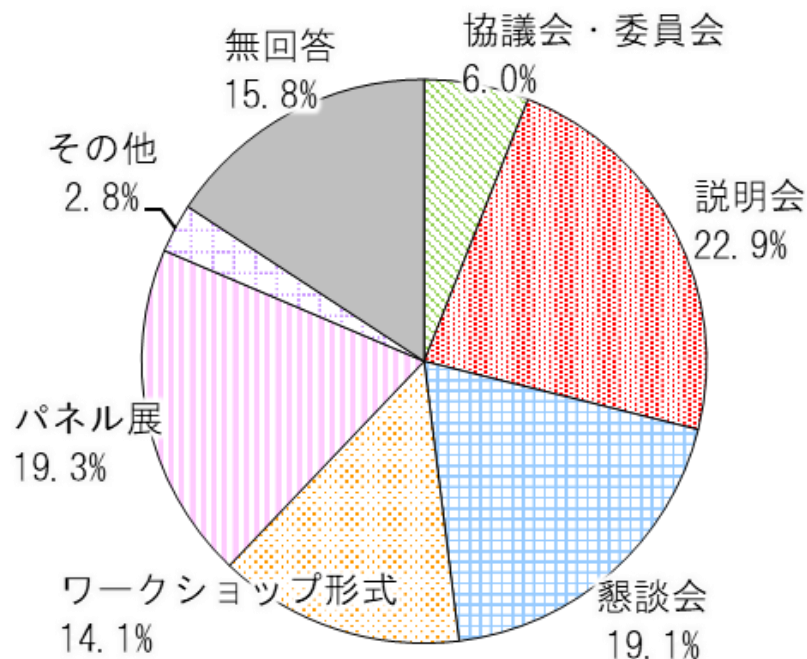
【まちづくり活動への参加意向】

まちづくり活動に参加したいと思いますか(1つ)



【参加形式】

会議形式のまちづくり活動に参加する場合、どの形態に参加したいと思いますか(1つ)



2.4 将来の安中市について

◆ 市民参加型のまちづくりについて

- 「市発行の広報誌等」でまちづくり情報を得ている人が76.7%と最も多い

【情報伝達手段】

まちづくりに関する情報を得る手段として、普段何を見ていますか(1つ)

